

氏名	種別	内容
Suzuki Y.	学会報告	Genetic Dissection of the Roles of Endothelin-2 in the Development of Pulmonary Hypertension in Mice 第81回日本循環器学会総会学術集会 金沢 (2017年)
Dhite B. Nugroho, Koji Ikeda, Noriaki Emoto, Ken-ichi Hirata	学会報告	Signaling cross talk between adipocyte and endothelial cell via neuregulin-4 regulates adipose angiogenesis and metabolic homeostasis 第81回日本循環器学会総会 金沢 (2017年3月17)
Imam Manggalya Adhikara, Keiko Yagi, Koji Ikeda, Noriaki Emoto, Ken-ichi Hirata	学会報告	Chondroitin sulfate N-acetylgalactosaminyltransferase 2 (ChGn-2) effect on macrophage glycosaminoglycans accelerates foam cell formation in early atherosclerosis 第81回日本循環器学会総会
Agian Jeffilano Brinda, Koji Ikeda, Ken-ichi Hirata, and Noriaki Emoto	学会報告	Vascular senescence-messaging secretome induces premature senescence in adipocytes and impairs systemic metabolic homeostasis 第81回日本循環器学会総会 金沢 (2017年3月19)
池田 宏二、Agian Jeffilano Brinda、江本 憲昭	学会報告	血管内皮細胞の老化は脂肪細胞の早熟老化を誘導し、全身の代謝異常を引き起こす 第94回日本生理学会大会 浜松 (2017年3月29日)
江本 憲昭	講演	肺高血圧の治療戦略:新薬をどう生かすか 第81回日本循環器学会総会学術集会 金沢 (2017年3月18)
玉田 直己、江本 憲昭	総説	CTEPH治療におけるリオシグアトの役割とは メディカルレビュー 33-41 (2017) 査読無し
Emoto N.	著書	<i>Endothelin Receptor Antagonist. Diagnosis and Treatment of Pulmonary Hypertension.</i> 159-169 (
Noriaki, Emoto	著書	<i>Diagnosis and Treatment of Pulmonary Hypertension</i> 2017 153-169 (2017)
Motoji Y, Tanaka H, Fukuda Y, Sano H, Ryo K, Sawa T, Miyoshi T, Imanishi J, Mochizuki Y, Tatsumi K, Matsumoto K, Emoto N, Hirata KI	論文	Association of Apical Longitudinal Rotation with Right Ventricular Performance in Patients with Pulmonary Hypertension: Insights into Overestimation of Tricuspid Annular Plane Systolic Excursion <i>Echocardiography</i> 33(3) 207-215 313-321 (2017)
中島園美	学会報告	アトピー性皮膚炎症状にまつわるネガティブ体験がコーピング体験に及ぼす影響-掻破行動と「自責」コーピングに焦点をおいて 日本心理臨床学会 第36回秋季大会 横浜市 (11/20/2017)
中島園美,北野美貴,木村典子,平井友貴	学会報告	薬学生の高齢者とのコミュニケーション力に影響を及ぼす要因の探索 —今後の教育プログラム作成への活用と展望(4)— 第2回日本薬学教育学会 名古屋市 (
平井友貴, 北野美貴, 木村典子, 中島園美	学会報告	薬学生の高齢者との接触頻度による聴く認知スキル, 聴く行動スキルへの影響 —今後の教育プログラム作成への活用と展望(3)— 第2回日本薬学教育学会 名古屋市 (9/2/2017)
木村典子, 北野美貴, 平井友貴, 中島園美	学会報告	薬学生の高齢者とのコミュニケーション力の関係 —今後の教育プログラム作成への活用と展望(2)— 第
北野美貴, 木村典子, 平井友貴, 中島園美	学会報告	「薬学生における対高齢者コミュニケーション力の多角的分析—今後の教育プログラム作成への活用と展望(1)—」第2回日本薬学教育学会 名古屋市 (
Kataoka Y.,Nakajima S.	学会報告	Is coping of atopic dermatitis patients originated from their own character or secondarily remodeled by disease suffering? Obvious improvement of coping and psychiatric symptoms after “tight eczema control” <i>The European Society for Dermatology and Psychiatry’s Biannual Meeting, Brest,France.</i> (
八巻 耕也, 池田 宏二, 上田 久美子, 土生 康司, 中山 喜明, 武田 紀彦, 森脇 健介, 和田 昭盛, 小山 淳子, 児玉 典子, 北河 修治	論文	分野横断的統合型初年次導入科目「薬学入門」へのミニッツペーパー導入が生み出す学習意欲と学習効果 薬学雑誌 137(10) 1285-1299 (2017) 査読有り
八巻耕也、池田宏二、上田久美子、土生康司、中山喜明、武田紀彦、森脇健介、和田昭盛、小山淳子、児玉典子、北河修治	学会報告	分野横断的統合型初年次導入科目「薬学入門」へのミニッツペーパー導入が生み出す学習意欲と学習効果 第2回日本薬学教育学会 名古屋 (2017/9/2)

小山 豊、浮田彰乃、阿部華奈、岩前邦明、田中啓介、小竹優希	学会報告	デキサメタゾンによる培養アストロサイトのエンドセリンETAおよびETB受容体のDown-regulation 第131回日本薬理学会近畿部会 名古屋市 (2017/6/30)
Michinaga S., Toriyama Y., Fujii M., Koyama Y.	学会報告	Amelioration of BBB disruption and brain edema by BQ788, an endothelin ETB receptor antagonist through attenuation of matrix metalloproteinase-9 in cerebral contusion mice 第40回日本神経科学学会
道永 昌太郎, 小山 豊	学会報告	脳挫傷後の脳血管障害に対するエンドセリンETB受容体拮抗薬の効果 第19回応用薬理シンポジウム 清瀬市 (2017/9/15)
道永 昌太郎、鳥山 佳勇、藤井 愛望、小山 豊	学会報告	頭部外傷マウスにおけるBlood-brain barrierの破綻に対するエンドセリンETB受容体拮抗薬の効果 日本薬学会第138回年会 金沢市 (2017/3/26)
Michinaga S., Koyama Y.	総説	Protection of the blood-brain barrier as a therapeutic strategy for brain damage. <i>Biol Pharm Bull.</i> 40(5) 569-575 doi: 10.1248/bpb.b16-00991. (2017) 査読有り
Nakamoto K., Aizawa F., Kinoshita M., Koyama Y., Tokuyama S.	論文	Astrocyte activation in locus coeruleus is involved in neuropathic pain exacerbation mediated by maternal separation and social isolation stress. <i>Front Pharmacol</i> 8(1) e401 doi:
Nakamoto K., Aizawa F., Miyagi K., Yamashita T., Mankura M., Koyama Y., Kasuya F., Hirasawa A., Kurihara T., Miyata A., Tokuyama S.	論文	Dysfunctional GPR40/FFAR1 signaling exacerbates pain behavior in mice. <i>PLoS One</i> 12(7) e0180610 doi: 10.1371/journal.pone.0180610 (2017) 査読有り
Koyama Y., Ukita A., Abe K., Iwamae K., Tokuyama S., Tanaka K., Kotake Y.	論文	Dexamethasone downregulates endothelin receptors and reduces endothelin-induced production of matrix metalloproteinases in cultured rat astrocytes. <i>Mol. Pharmacol.</i> 92(1) 57-66 doi: 10.1124/mol.116.107300 (2017) 査読有り
中原広道, 萩森政頼, 向高弘, 柴田攻	学会報告	新規還元型テトラジンと生体膜脂質の単分子膜物性評価 第34回日本薬学会九州支部大会 熊本 (2017/11/13)
萩森政頼, 狩峯寧, 加藤直也, 水山奈央子, 洲上由貴, 佐治英郎, 向高弘, 川上茂	学会報告	生体内遊離亜鉛の可視化を目的とした蛍光プローブの開発 第34回日本薬学会九州支部大会 熊本 (2017/11/13)
田中将史, 弓削文乃, 三宅央泰, 岡寛子, 向高弘	学会報告	合成高分子を用いた脂質ナノディスクの作製と生体イメージング応用の検討 膜シンポジウム 2017 富山 (2017/11/13)
佐野紘平, 金田侑子, 山田真智子, 小野正博, 佐治英郎, 向高弘	学会報告	熱応答凝集性ポリマーを基盤とした小線源療法用薬剤の開発 第11回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム 京都 (2017/10/21)
関山慶紀, 田中将史, 高瀬ひろか, 向高弘	学会報告	グリコサミングリカンの硫酸基組成が血清アミロイドAの組織沈着に及ぼす影響 第67回日本薬学会近畿支部大会 神戸 (2017/10/14)
高橋勝史, 佐野紘平, 金田侑子, 小野正博, 佐治英郎, 向高弘	学会報告	熱応答凝集性ポリマーを母体とする新規内用放射線治療薬剤の腫瘍集積性評価 第67回日本薬学会近畿支部大会 神戸 (2017/10/14)
衣笠真由, 佐野紘平, 向高弘	学会報告	がんの核医学診断を目的としたコンドロイチン硫酸被覆自己組織化ナノ粒子の開発 第67回日本薬学会近畿支部大会 神戸 (2017/10/14)
山崎俊栄, Audran G., Brémond P., Joly J.P., Marque S.R.A.	学会報告	アルコキシアミンのC-ON結合開裂速度に対する置換基効果の検討 -ラジカル放出薬剤の開発に向けて- 第67回日本薬学会近畿支部大会 神戸 (2017/10/14)
佐野紘平, 金田侑子, 高橋勝史, 小野正博, 向高弘, 佐治英郎	学会報告	ポリオキサソリンを基盤とする内用放射線療法用薬剤の開発 第17回放射性医薬品・画像診断薬研究会/第1回日本核医学会分科会放射性医薬品科学研究会 京都 (2017/3/27)
甘中健登, 佐野紘平, 萩森政頼, 山崎俊栄, 向高弘	学会報告	新規両親媒性テトラジン誘導体の開発とリポソームへの応用 第15回次世代を担う若手のためのフィジカル・ファーマフォーラム(PFF)2017 金沢 (2017/9/4)
田中寿枝, 佐野紘平, 衣笠真由, 三木麻友美, 宮崎寛隆, 佐々木均, 向高弘	学会報告	肺転移がんの核医学診断を目的とする ¹¹¹ In標識自己組織化ナノ粒子型プローブの開発 第27回金属の関与する生体関連反応シンポジウム 東京 (2017/6/16)
金田侑子, 佐野紘平, 丁寧, 小野正博, 佐治英郎	学会報告	放射線熱応答凝集性ポリマーを用いる新規内用療法の開発 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/27)
川崎翔哉, 杉本理紗, 佐野紘平, 萩森政頼, 向高弘	学会報告	NAD(P)H: quinone oxidoreductase1 (NQO1)標的放射性薬剤の開発: 電子供与基の導入が親和性および安定性に及ぼす影響の評価 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/27)

池田宏之, 石井暁, 佐野紘平, 千原英夫, 新井大輔, 安部倉友, 西秀久, 小野正博, 佐治英郎, 宮本享	学会報告	アクチベータブルインドシアニンググリーン標識酸化鉄ナノ粒子による動脈硬化巣のマクロファージイメージング 第42回日本脳卒中学会学術集会 大阪 (2017/3/16)
佐野紘平	講演	水溶性ポリマーを母体とするがんの診断・治療用プローブの開発 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/10/26)
萩森政頼, 水山奈央, 小川昂輝, 川上茂, 向高弘, 佐治英郎	総説	亜鉛検出用蛍光プローブの開発とその応用 亜鉛栄養治療 8(1) 012-18 (2017) 査読有り
Sano K., Kanada Y., Kanazaki K., Ding N., Ono M., Saji H.	論文	Brachytherapy with intratumoral injections of radiometal-labeled polymers that thermo-responsively self-aggregate in tumor tissues <i>J. Nucl. Med.</i> 58(9) 1380-1385 (2017) 査読有り
Hagimori M., Hatabe E., Sano K., Miyazaki H., Sasaki H., Saji H., Mukai T.	論文	An activatable fluorescent γ -polyglutamic acid complex for sentinel lymph node imaging <i>Biol. Pharm. Bull.</i> 40(3) 297-302 (2017) 査読有り
Tanaka M., Tsujino N., Mukai T.	論文	Preparation and cellular uptake of folate-modified lipid nanodisks <i>Chem. Lett.</i> 46(7) 944-946 (2017) 査読有り
Tanaka M., Nishimura A., Takeshita H., Takase H., Yamada T., Mukai T.	論文	Effect of lipid environment on amyloid fibril formation of human serum amyloid A <i>Chem. Phys. Lipids</i> 202 06-012 (2017) 査読有り
Takeda N., Ueda M., Mori N., Miyoshi T., Shimoda M., Uno Y., Kitagawa H., Emoto N., Mukai T., and Miyata O.	論文	"Fluorescence Quenching Induced by Sequential Addition-Aromatization of A BODIPY-Containing Dienylimine with Thiols" <i>Heterocycles</i> 94 750-762 (2017) 査読有り
武田紀彦	トピックス	「有機触媒による共役付加反応を鍵反応とした不斉四級炭素構築法」有機合成化学協会誌 75(2) 153-154 (2017) 査読有り
武田紀彦, 岡村光平, 谷元彩香, 上田昌史	学会報告	「N-アルコキシラクタムの求核付加-環縮小反応の開発」第43回反応と合成の進歩シンポジウム 富山 (2017/10/26)
上田昌史, 伊藤勇太, 野久保名菜恵, 八幡菜由, 武田紀彦, 宮田興子	学会報告	「共役ヒドラゾンの求核性を利用したインドール類およびピラゾール類の合成」第47回複素環化学討論会 高知 (2017/10/26)
東川泉, 杉田翔一, 武田紀彦, 松野研司, 宮田興子, 上田昌史	学会報告	「金触媒による閉環-転位反応を鍵反応とした生物活性を有するイソキサゾール誘導体の合成」第67回日本薬学会近畿支部総会・大会 神戸 (2017/10/14)
前田真美, 武田紀彦, 上田昌史	学会報告	「クロロホルムから発生する塩化水素を活用したアジリジン環開環反応の開発」第67回日本薬学会近畿支部総会・大会 神戸 (2017/10/14)
種茂いずみ, 土井信佳, 武田紀彦, 宮田興子, 上田昌史	学会報告	「トリクロロメチルシクロプロパンの還元的ラジカル開環反応によるPermethrinの合成」第67回日本薬学会近畿支部総会・大会 神戸 (2017/10/14)
川上智広, 長尾拓磨, 武田紀彦, 宮田興子, 上田昌史	学会報告	「ケトン類の α -アルコキシ化反応の開発」第67回日本薬学会近畿支部総会・大会 神戸 (2017/10/14)
谷元彩香, 岡村光平, 武田紀彦, 上田昌史	学会報告	「N-アルコキシラクタムの求核付加-環縮小反応の開発」第67回日本薬学会近畿支部総会・大会 神戸 (2017/10/14)
武田紀彦, 二木恵里佳, 小堀友規子, 宮田興子, 上田昌史	学会報告	「N,O-ケテンアセタールの求核的アリール化反応の開発」第34回有機合成化学セミナー 金沢 (2017/8/9)
武田紀彦, 古石瑞希, 松野研司, 宮田興子, 上田昌史	学会報告	「メチルケトン類の立体選択的 α -フェニル化反応の開発」第37回有機合成若手セミナー「明日の有機合成を担う人のために」 京都 (2017/8/9)
武田紀彦, 宮本美咲, 近藤隆瑛, 上田昌史	学会報告	「N-(アシルオキシ)エナミドの[3,3]-シグマトロピー転位反応の開発」第37回有機合成若手セミナー「明日の有機合成を担う人のために」 京都 (2017/8/9)
小堀友規子, 武田紀彦, 上田昌史	学会報告	「極性転換反応を利用した簡便な α -および γ -置換アミド類合成法の開発」第11回六甲有機合成研究会 神戸 (2017/8/5)
岡村光平, 武田紀彦, 上田昌史	学会報告	「N-アルコキシラクタムの求核付加-環縮小反応の開発」第11回六甲有機合成研究会 神戸 (2017/8/5)
Ueda M., Nishida Y., Takeda N., Miyata O.	学会報告	"Aminocarbonylation of homoallylic amine with chloroform" <i>18th Tetrahedron Symposium Asia Edition Melbourne</i> (2017/7/25)
Futaki E., Takeda N., Kobori Y., Miyata O., Ueda M.	学会報告	"Nucleophilic arylation of N,O-ketene acetals with triarylaluminums for the preparation of alpha-arylamides" <i>18th Tetrahedron Symposium Asia Edition Melbourne</i> (2017/7/24)
武田紀彦, 小堀友規子, 二木恵里佳, 上田昌史, 宮田興子	学会報告	「極性転換反応を利用した簡便な α -置換アミド類合成法の開発」日本薬学会第137年会 仙台 (2017/10/26)

武田紀彦、岡村光平、谷元彩香、宮田興子、上田昌史	学会報告	「N-アルコキシラクタムの求核付加-環縮小反応の開発」日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/27)
西田唯香、楠本祥子、武田紀彦、宮田興子、上田昌史	学会報告	「β-イミノエステル触媒的C(sp ³)-H酸化反応の開発」日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/25)
西田唯香、武田紀彦、上田昌史	学会報告	「新規アミノカルボニル化反応によるアミド構築法の開発」第10回六甲有機合成研究会 神戸 (2017/1/7)
Takeda N., Futaki E., Kobori Y., Ueda M. and Miyata O.	論文	“Nucleophilic Arylation of N,O-Ketene Acetals with Triaryl Aluminum Reagents: Access to α-Aryl Amides through an Umpolung Process” <i>Angew. Chem. Int. Ed.</i> 56 16342-16346 (2017) 査読有り
Doi N., Takeda N., Miyata O., and Ueda M.	論文	“Regiodivergent Chlorine-Atom-Transfer Ring-Opening Reactions of Trichloromethylcyclopropanes” <i>Eur. J. Org. Chem.</i> 25 3652-3657 (2017) 査読有り
Nishida Y., Takeda N., Miyata O., and Ueda M.	論文	“Triphosgene-Mediated Chlorolactamization and Aminolactamization of Homoallylic Amines” <i>Heterocycles</i> 95 787-798 (2017) 査読有り
Sugita S., Takeda N., Tohnai N., Miyata M., Miyata O. and Ueda M.	論文	“Gold-Catalyzed [3+2]/Retro-[3+2]/[3+2] Cycloaddition Cascade Reaction of N-Alkoxyazomethine Ylides”
上田 久美子、八巻 耕也、土生 康司、寺岡 麗子、宮田 興子、北河 修治	学会報告	チーム基盤型学習を用いた分野横断統合演習の構築の試み-実務実習実施前の基礎薬学と臨床薬学の統合教育として- 第67回 日本薬学会近畿支部総会・大会 神戸 (2017/10/14)
細川 美香、藤波 綾、竹内 敦子、田中将史、小山 淳子、西山 由美、和田 昭盛、北河 修治、益川 弘如、児玉 典子	学会報告	神戸薬科大学の薬学英语入門での学力向上に導くジグソー法の検討 -コーディングによる質的分析から学生の意識を可視化する- 第2回日本薬学教育学会大会 名古屋 (2017/9/2)
上田 久美子、寺岡 麗子、八巻 耕也、土生 康司、宮田 興子、北河 修治	論文	チーム基盤型学習を用いた分野横断統合演習の構築の試み 薬学教育 1 doi/10.24489/jjpe.2017-012 (2017) 査読有り
Kumiko Ueda, Misaki Fukuda, Shota Tanaka, Mika Hosokawa, and Seigo Iwakawa	学会報告	Monophosphorylation by deoxycytidine kinase affects apparent cellular uptake of decitabine in HCT116 colon cancer cells 日本薬物動態学会第32回年会 船堀 (2017/11/29)
Shogo Kawano, Mika Hosokawa, Shota Higuchi, Shota Tanaka, Kumiko Ueda, Seigo Iwakawa	学会報告	Simultaneous determination of gemcitabine metabolites produced by deoxycytidine kinase and cytidine deaminase using a reversed-phase HPLC-UV method 日本薬物動態学会第32回年会 船堀 (
加藤 結衣、細川 美香、田中 章太、上田 久美子、岩川 精吾	学会報告	オキサリプラチン耐性を示すヒト大腸がん細胞株 HCT116細胞の白金製剤感受性に及ぼすヒストン脱アセチル化酵素阻害薬の影響 第67回 日本薬学会近畿支部総会・大会 神戸 (2017/10/14)
今井 護、茶村 流衣、田中 章太、細川 美香、上田 久美子、岩川 精吾	学会報告	ヒト大腸がん細胞株HT29細胞における遊走能、浸潤能の及ぼすニトロベンジルチオイノシンの影響 第67回 日本薬学会近畿支部総会・大会 神戸 (2017/10/14)
福田 美沙希、上田 久美子、田中 章太、細川 美香、岩川 精吾	学会報告	ヒト大腸がん細胞株HCT116細胞によるデシタピンのリン酸化に及ぼす抗がん剤の影響 日本薬剤学会第33回年会 埼玉 (2017/5/11)
東野 春佳、細川 美香、田中 章太、上田 久美子、岩川 精吾	学会報告	ヒト大腸がん細胞株HCT116細胞の遊走能・浸潤能に及ぼすオキサリプラチン長期処置の影響 日本薬剤学会第33回年会 埼玉 (2017/5/11)
山口 真実、上田 久美子、杉木 紗代、茶村 流衣、吉井 鷹之、田中 章太、細川 美香、岩川 精吾	学会報告	ヒト大腸がん細胞株 HCT116 細胞における浸潤能及び遊走能に及ぼすニトロベンジルチオイノシンの影響 日本薬学会 第137年会 仙台 (2017/3/26)
徳野 翔太、細川 美香、高津 汐李、田中 章太、上田 久美子、岩川 精吾	学会報告	ヒト大腸がん細胞株SW620細胞におけるデシタピン長期処置による耐性の獲得 日本薬学会 第137年会 仙台 (2017/3/26)
Ueda K, Masuda A, Fukuda M, Tanaka S, Hosokawa M, Iwakawa S	論文	Monophosphorylation by deoxycytidine kinase affects apparent cellular uptake of decitabine in HCT116 colon cancer cells <i>Drug Metab Pharmacokin</i> 32 (6) 301-310 (2017) 査読有り
Hosokawa M, Tanaka S, Ueda K, Iwakawa S	論文	Different schedule-dependent effects of epigenetic modifiers on cytotoxicity by anticancer drugs in colorectal cancer cells <i>Biol Pharm Bull</i> 40 (12) 2199-204 (2017) 査読有り

Tanaka S, Hosokawa M, Matsumura J, Matsubara E, Ueda K, Iwakawa S	論文	Effects of zebularine on invasion activity and intracellular expression level of let-7b in colorectal cancer cells <i>Biol. Pharm. Bull.</i> 40 (8) 1320-1325 (
朴 聡美、寺岡 麗子、岡本 禎晃、中山みずえ、坂根 稔康、湯谷 玲子、沼田 千賀子	学会報告	フェンタニル経皮吸収型製剤を平面貼付した場合の貼付面積および残存率について 第1回日本医療薬学会フレッシュヤーズカンファランス 東京 (2017/6/25)
河内正二、中村任、堀部紗世、佐々木直人、濱口常男、力武良行	学会報告	インドメタシン誘発小腸粘膜障害モデルにおける小腸と肝臓でのCYPsおよびmdr1aの発現変動機序の検討 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/27)
波多江 崇	解説	第12回 アシクロビルとバラシクロビルは何が違うのか? その② 山形県薬剤師会・山形県病院薬剤師会雑誌「薬苑」65(10) 16-21 (2017) 査読無し
波多江 崇	解説	第67回 有意差を検定してみよう その④ 兵庫県薬剤師会雑誌「兵薬界」743 42-44 (2017) 査読無し
波多江 崇	解説	第66回 有意差を検定してみよう その③ 兵庫県薬剤師会雑誌「兵薬界」742 33-35 (2017) 査読無し
波多江 崇	解説	第65回 有意差を検定してみよう その② 兵庫県薬剤師会雑誌「兵薬界」741 29-31 (2017) 査読無し
波多江 崇	解説	第11回 アシクロビルとバラシクロビルは何が違うのか? 山形県薬剤師会・山形県病院薬剤師会雑誌「薬苑」65(9) 13-16 (2017) 査読無し
波多江 崇	解説	研究・学会発表 はじめの一步「これだけは気をつけたい研究のイロハ File.3 統計解析」月刊薬事 10月号特別付録 22-23 (2017) 査読無し
波多江 崇	解説	第64回 有意差を検定してみよう その① 兵庫県薬剤師会雑誌「兵薬界」740 72-75 (2017) 査読無し
波多江 崇	解説	第10回 アシクロビル錠を高齢者に通常の成人量を投与してもいいのだろうか? その② 山形県薬剤師会・山形県病院薬剤師会雑誌「薬苑」65(8) 8-11 (2017)
波多江 崇	解説	第9回 アシクロビル錠を高齢者に通常の成人量を投与してもいいのだろうか? 山形県薬剤師会・山形県病院薬剤師会雑誌「薬苑」65(7) 6-10 (2017) 査読
波多江 崇	解説	第63回 第102回薬剤師国家試験問題にチャレンジ その④ 兵庫県薬剤師会雑誌「兵薬界」739 26-29 (2017) 査読無し
波多江 崇	解説	第62回 第102回薬剤師国家試験問題にチャレンジ その③ 兵庫県薬剤師会雑誌「兵薬界」738 23-25 (2017) 査読無し
波多江 崇	解説	第8回 α -グルコシダーゼ阻害剤による重大な副作用の劇症肝炎はどの程度の注意が必要か?(その②) 山形県薬剤師会・山形県病院薬剤師会雑誌「薬苑」65(6) 4-9 (2017) 査読無し
波多江 崇	解説	第61回 第102回薬剤師国家試験問題にチャレンジ その② 兵庫県薬剤師会雑誌「兵薬界」737 62-64 (2017) 査読無し
波多江 崇	解説	第7回 α -グルコシダーゼ阻害剤による重大な副作用の劇症肝炎はどの程度の注意が必要か? 山形県薬剤師会・山形県病院薬剤師会雑誌「薬苑」65(5) 2018/09/14 (2017) 査読無し
波多江 崇	解説	第60回 第102回薬剤師国家試験問題にチャレンジ その① 兵庫県薬剤師会雑誌「兵薬界」736 27-29 (2017) 査読無し
波多江 崇	解説	第6回 耐糖能異常の患者に α -グルコシダーゼ阻害剤を処方したい。処方可能な薬剤はどれか?(その②) 山形県薬剤師会・山形県病院薬剤師会雑誌「薬苑」65(4) 2018/07/12 (2017) 査読無し
波多江 崇	解説	第59回 外れ値の適切な取り扱い 兵庫県薬剤師会雑誌「兵薬界」735 27-29 (2017) 査読無し
波多江 崇	解説	第5回 耐糖能異常の患者に α -グルコシダーゼ阻害剤を処方したい。処方可能な薬剤はどれか? 山形県薬剤師会・山形県病院薬剤師会雑誌「薬苑」65(3) 2018/05/09 (2017) 査読無し
波多江 崇	解説	第58回 標準偏差と標準誤差を業務に活用する 兵庫県薬剤師会雑誌「兵薬界」734 30-32 (2017) 査

波多江 崇	解説	第4回 胃潰瘍の既往のある患者に低用量アスピリンを処方したいがどうしたら良いか?(その②) 山形県薬剤師会・山形県病院薬剤師会雑誌「薬苑」65(2) 2018/10/13 (2017) 査読無し
波多江 崇	解説	第57回 推定の精度を高める情報:標準誤差 兵庫県薬剤師会雑誌「兵薬界」733 35-36 (2017) 査読
波多江 崇	解説	第3回 胃潰瘍の既往のある患者に低用量アスピリンを処方したいがどうしたら良いか? 山形県薬剤師会・山形県病院薬剤師会雑誌「薬苑」65(1) 2018/08/13 (第56回 推定の精度を高める情報:標準偏差 兵庫県薬剤師会雑誌「兵薬界」732 65-67 (2017) 査読
波多江 崇	解説	子育て中の母親が持つ子供の薬に対する疑問とその解決方法に関する調査 日本社会薬学会第36年会 大阪 (2017/9/24)
山下葵弓、波多江崇、田岡京将、田中智啓、長井梨紗、柳真奈美、荻野知佐子、笠谷君代、平田ひとみ、矢羽野早代、濱口常中村孝佑、形部文寛、林俊吾、山崎富士子、武智直佳、小野友香、波多江崇、八本久仁子	学会報告	国立病院機構における緩和ケアに関する現状と担当薬剤師の貢献度調査(第二報) 第11回日本緩和医療薬学会年会 札幌 (2017/6/2)
波多江崇、田中智啓、猪野彩、田内義彦、竹下治範、辰見明俊、濱口常男	学会報告	日本人を対象とした食後血糖値上昇に対する難消化性デキストリンの効果:二重盲検プラセボ対照ランダム化比較試験のメタアナリシス 日本薬学会第137年会 仙台
斐麗順、中川素子、原田祐希、大西栄美、岸本祐樹、浅井香美代、村岡沙美、八杉佳奈、波多江崇	学会報告	減塩に関する意識調査と薬局薬剤師による地域活動を通じた健康サポートの必要性 セルフメディケーション推進協議会学術フォーラム2017 神戸 (2017/3/5)
波多江崇、副田哲平、田岡京将、武田佳子、田中智啓、豊田典子、長井梨紗、柳真奈美、濱口常男	学会報告	行政・薬局・大学の共働による地域住民への減塩教室の試み セルフメディケーション推進協議会学術フォーラム2017 神戸 (2017/3/5)
檀和貴、本間久美子、塩田恵、波多江崇、辻本勉	学会報告	ビーフリード®輸液投与患者における血管痛・静脈炎の発症頻度と要因調査(第2報) 第38回日本病院薬剤師会近畿学術大会 大阪 (2017/2/25)
大川恭子、波多江崇、伊藤裕子	学会報告	災害現場におけるモバイルファーマシーの有用性の検証 -2016 熊本地震 JMAT兵庫活動より- 第22回日本集団災害医学会総会・学術集会 名古屋 (災害時の避難所・救護所における医薬品に関する考察 日本災害薬剤師学会第6回学術大会 岐阜 (新人薬剤師に求める基本的な社会的スキルに関する研究~現場のニーズとその解析~ 第2回日本薬学教育学会大会 名古屋 (2017/9/3)
中尾幸代、村田明子、松田裕子、南恵理子、山中智香、沼田千賀子	学会報告	新人薬剤師に求める基本的な社会的スキルに関する研究~現場の現状と本音~ 第2回日本薬学教育学会大会 名古屋 (2017/9/2)
中尾幸代、村田明子、松田裕子、南恵理子、山中智香、沼田千賀子	学会報告	新人薬剤師に求める基本的な社会的スキルに関する研究~アンケート結果にみる現場のニーズ~ 第50回日本薬剤師会学術大会 東京 (2017/10/9)
富澤崇、有田悦子、井手口直子、野呂瀬崇彦、沼田千賀子、半谷真七子、平井みどり、後藤恵子	学会報告	かかりつけ薬剤師に求められるPharmaceutical Communication Standardの構築 第11回日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会大会 札幌 (中学1年生を対象としたがん教育の実施 第11回日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会大会 札幌 (2017/9/10)
横山郁子、河内正二、浅田聖士、朴聡美、高橋佳孝、武七海、田中智啓、藤本佳昭、沼田千賀子	学会報告	新人薬剤師に求める基本的な社会的スキルに関する研究~現場で求められるスキルを探る~ 第11回日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会大会 札幌 (緩和ケアにおけるステロイドの使用状況 第1回日本医療薬学会フレッシュアーズカンファランス 東京 (2017/6/25)
村田明子、中尾幸代、松田裕子、南恵理子、山中智香、沼田千賀子	学会報告	緩和ケアにおけるステロイドの使用状況 第1回日本医療薬学会フレッシュアーズカンファランス 東京 (2017/6/25)
高橋 佳孝、浅田 聖士、田中 育子、岡本 禎晃、中嶋 真一郎、西本 哲郎、幡野 舞、西浦 哲雄、沼田 千賀子	学会報告	フェンタニル経皮吸収型製剤を半面貼付した場合の貼付者による貼付面積の変動について 第11回緩和医療薬学会 札幌 (2017/6/3)
浅田 聖士、横山 郁子、河内 正二、藤本 佳昭、武 七海、朴 聡美、田中 智啓、高橋 佳孝、沼田 千賀子	学会報告	終末期がん患者におけるコルチステロイドの使用目的と効果・副作用の調査研究(第二報) 第11回緩和医療薬学会 札幌 (2017/6/3)
朴 聡美、寺岡 麗子、岡本 禎晃、中山 みずえ、沼田 千賀子	学会報告	
高橋 佳孝、浅田 聖士、田中 育子、岡本 禎晃、中嶋 真一郎、西本 哲郎、幡野 舞、西浦 哲雄、沼田 千賀子	学会報告	

浅田 聖士、横山 郁子、河内 正二、藤本 佳昭、武 七海、朴 聡美、田中 智啓、高橋 佳孝、沼田 千賀子	学会報告	中学1年生を対象としたがん教育による意識変化 第11回緩和医療薬学会 札幌 (2017/6/3)
河内正二	講演	心臓移植時の不整脈管理が免疫抑制剤の薬物動態に及ぼす影響 兵庫県薬剤師会・病院薬剤師会連携1周年記念大会 神戸 (2017/8/27)
田内義彦	講演	薬学教育(実務実習・生涯教育など)第15回近畿地協薬剤師交流集会 神戸市 (2017/11/23)
田内義彦	講演	漢方薬の使い方 区民健康講座(東灘区) 神戸市 (2017/10/13)
田内義彦	講演	適切な漢方薬の選択と販売 平成28年度登録販売者の資質向上のための外部研修 神戸市 (2017/2/18)
山本 克己	講演	学術研究倫理審査について 大阪府薬剤師会 平成29年度学術研究倫理に関する研修会 大阪 (2017/11/15)
波多江 崇	講演	添付文書徹底活用術-問題解決にチャレンジ- 近畿大学薬学部生涯教育研修会 東大阪市 (2017/11/11)
波多江 崇	講演	高齢者・小児における脱水対策としての経口補水療法について「めざそう健康長寿」～2017笹川薬局健康フェスタ～ 豊中 (2017/10/8)
波多江 崇	講演	じっくりとガイドラインを読んでみる～糖尿病診療ガイドライン2016を例に～ 京都北薬剤師会 特別講演会 京都 (2017/10/7)
波多江 崇	講演	意外と知らない添付文書・インタビューフォーム活用術 秋田県病院薬剤師会・秋田県薬剤師会 第44回卒後研修会 秋田 (2017/9/3)
波多江 崇	講演	世の中にあふれる健康情報を冷静に判断する 大学連携セミナー「こうべ生涯学習カレッジ」 神戸 (2017/7/8)
波多江 崇	講演	診療ガイドラインをじっくり読んでみる。その② 第164回神戸西ブロック研修会 神戸 (2017/7/8)
波多江 崇	講演	乳幼児のOTC・サプリメントへの対応 兵庫県薬剤師会 OTC研修会 神戸 (2017/7/2)
波多江 崇	講演	添付文書・インタビューフォーム活用術 平成29年度福岡県中小病院・診療所薬剤師研修会議特別講演 福岡 (2017/6/25)
波多江 崇	講演	添付文書・インタビューフォーム活用術 芦屋市薬剤師会講演会 芦屋 (2017/6/24)
波多江 崇	講演	診療ガイドラインをじっくり読んでみる。その① 第163回神戸西ブロック研修会 神戸 (2017/6/10)
波多江 崇	講演	薬剤師から見た根拠に基づく減塩指導ー納得して無理なく減塩に取り組むためにー 尼崎市適塩化フォーラム 尼崎 (2017/5/28)
波多江 崇	講演	添付文書徹底活用！ 臨床現場の疑問を解決するヒント 京都府薬剤師会 第9回若手病院薬剤師カンファレンス 京都 (2017/5/21)
波多江 崇	講演	意外と知らない添付文書・インタビューフォーム活用術 尼崎市薬剤師会研修会 尼崎 (2017/5/20)
波多江 崇	講演	添付文書・インタビューフォーム活用術 宝塚市薬剤師会講演会 宝塚 (2017/4/22)
波多江 崇	講演	添付文書・インタビューフォームをしっかりと読んでみよう！ 所沢市薬剤師会講演会 所沢 (2017/4/14)
波多江 崇	講演	添付文書・インタビューフォーム活用術-事例を使った演習 その③- 第161回神戸西ブロック研修会 神戸 (2017/3/18)
波多江 崇	講演	添付文書・インタビューフォーム活用術 第219回洞薬会例会 北九州 (2017/3/16)
波多江 崇	講演	シンポジウム10 妊娠とくすりの情報源～FDA胎児危険度分類廃止に伴って～薬剤師に求められる情報リテラシーとは？ 第38回日本病院薬剤師会近畿学術大会 大阪 (2017/2/26)
沼田千賀子	講演	がんサバイバーの尊厳をサポートするコミュニケーション がん治療における患者支援のためのSP参加型ワークショップ 大阪 (2017/3/4)

沼田千賀子	講演	終末期の患者に対する精神的な支援 第4回在宅医療推進ワークショップ 大阪 (2017/2/26)
沼田千賀子	講演	生きていく役割・価値との出会い ～あなたは人生から期待されている存在～ 西神戸医療センター 緩和ケアカンファレンス 神戸 (2017/1/26)
山本 克己	資料	在宅・病棟・ベッドサイドで必須の適正使用ポイント 一目からウロコの薬剤情報— 薬事日報 11962(平成29年12月22日号) 8ページ (2017) 査読無し
國正淳一, 堺陽子, 浦野公彦	総説	国内における危険ドラッグの実態と対策 愛知学院大学薬学雑誌 9(1) (2017) 査読有り
山本克己, 中山英夫, 森田幸子, 奥野智之, 星野伸夫, 濱 一郎, 木村 真, 白神久敬, 齋藤俊子, 大津山裕美子, 三浦 誠, 甲斐絢子, 杉岡かおる, 大西典子, 友澤明德, 四方敬介, 細木慈子, 藤村保夫, 深津祥央, 夏目君幸, 曾我明宏, 橋田 亨, 室井延之, 木村 健, 植村泰子, 隠岐英之, 渡邊真樹, 松井常孝, 杉野由美子, 隅田重義, 堀本佳世子, 新田朋弘, 楠本真也, 光岡千賀子, 木田大樹, 伊佐勝彦, 近藤真緒美, 杉本幸枝, 伊藤憲一郎, 西 洋壽, 中川素子, 竹谷美賀子, 戎 郁世, 辻由佳, 西野隆雄, 内田亨弘 (編集), 西野	著書	薬学生のための 病院・薬局実務実習テキスト 2017年版 10-35 (2017)
波多江 崇	著書	薬事統計の実践 一理論と事例, たくさんの演習—(第2版) 1-254 (2017)
Imoto S, Kim SR, Amano K, Iio E, Yoon S, Hirohata S, Yano Y, Ishikawa T, Katsushima S, Komeda T, Fukunaga T, Chung H, Kokuryu H, Horie Y, Hatae T, Fujinami A, Kim SK, Kudo M, Tanaka Y.	論文	Serum IFN- λ 3 levels correlate with serum HCV RNA levels in symptomatic patients with acute hepatitis C <i>Digestive Diseases</i> 35(6) 531-540 (2017) 査読有り
合田俊一, 高瀬尚武, 吉田沢子, 田淵誠子, 井上知美, 佐々木信子, 上野隼平, 近藤亜美, 波多江崇, 濱口常男, 室井延之	論文	CS分析を用いた病棟薬剤業務の評価と今後の課題 医薬品相互作用研究 41(2) 29-33 (2017) 査読有り
波多江崇, 田中智啓, 猪野彩, 田内義彦, 竹下治範, 辰見明俊, 濱口常男	論文	日本人を対象とした食後血糖値上昇に対する難消化性デキストリンの効果:二重盲検プラセボ対照ランダム化比較試験のメタアナリシス 医薬品情報学 18(4) 289-294 (2017) 査読有り
竹下治範, 井上知美, 高瀬尚武, 波多江崇, 室井延之, 濱口常男	論文	副腎皮質ステロイド軟膏剤の適正使用に向けたFinger-tip unitによる服薬指導の実態調査と製剤学的使用性の評価 医薬品情報学 18(4) 270-276 (2017) 査読有り
児玉典子, 西村克己, 藤波綾, 小山淳子	学会報告	KJ法を用いた協調学習が学生の学習意欲及び授業意欲に及ぼす影響 日本薬学会137年会 仙台 (初年次教育における反転授業とジグソー法を組み合わせたアクティブ・ラーニングの試み <i>Libra</i> 17 1-14 (2017) 査読無し
児玉典子, 小山淳子	論文	
松本 詩織, 境 崇行, 奥田 健介, 永澤 秀子, 平田 洋子, 大橋 憲太郎	学会報告	ヒト結腸癌細胞株HT 29におけるグルコース欠乏性ストレス応答に対する新規フェンホルミン誘導体の効果に関する研究 2017年度生命科学系合同年次大会 神戸 (ベンザインの(2+2)付加環化二量体反応とその配向制御 第43回反応と合成の進歩シンポジウム 富山 (2017/11/6-7)
井川 貴詞, 村上 智成, 福元 豊, 高木 晃, 青山 浩, 山本 雄大, 常盤 広明, 赤井 周司	学会報告	
境 崇行, 辻 美恵子, 平山 祐, 奥田 健介, 永澤 秀子	学会報告	がん微小環境における低栄養ストレス応答を標的とするビッグアニド誘導体の創薬研究 第35回メディシナルケミストリーシンポジウム 名古屋 (2017/10/25-27)
原 宏和, 下地 萌, 神谷 哲朗, 奥田 健介, 足立 哲夫	学会報告	硫化水素は神経細胞に対する亜鉛毒性を軽減する メタルバイオサイエンス研究会2017 岡山 (2017/10/13)
Nagasawa H., Koike K., Hattori K., Okuda K., Hirayama T.	学会報告	Structural modification and biological evaluation of quinomycin class cyclic depsipeptides to develop antitumor agents targeting the tumor microenvironment 26th French-Japanese Symposium on Medicinal & Fine Chemistry, Strasbourg (
松本 詩織, 入江 菜央, 境 崇行, 奥田 健介, 永澤 秀子, 木内 一壽, 平田 洋子, 大橋 憲太郎	学会報告	ヒト結腸癌細胞株HT 29におけるグルコース欠乏性ストレス応答に対する新規フェンホルミン誘導体の効果に関する研究 第81回日本生化学会中部支部例会 名古屋 (2017/5/20)

山本 雄大, 井川 貴詞, Arulmozhiraja SUNDARAM, Sladek VLADIMIR, 松尾 直也, 村上 智成, 福元 豊, 高木 晃, 青山 浩, 赤井 周司, 常盤 広明	学会報告	多環式ベンザインによる(2+2)付加環化反応はなぜ進行するのか? 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/25-27)
井川 貴詞, 村上 智成, 福元 豊, 高木 晃, 青山 浩, 山本 雄大, 常盤 広明, 赤井 周司	学会報告	ベンザインの(2+2)付加環化二量化反応とその配向制御 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/25-27)
境 崇行, 小池 晃太, 三木 彩路, 横尾 沙季, 平山 祐, 奥田 健介, 永澤 秀子	学会報告	がん微小環境標的ビグアニド誘導体の創薬研究 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/25-27)
丹羽 正人, 平山 祐, 奥田 健介, 永澤 秀子	学会報告	細胞中での拡散性を高めた鉄(II)イオン蛍光プローブの開発 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/25-27)
奥田 健介, 占 文虎, 平山 祐, 永澤 秀子	学会報告	生体内硫化水素検出を目指した19F-MRIプローブの開発 第19回癌治療増感研究シンポジウム 奈良 (2017/2/3-4)
高木 晃	講演	反応性官能基を有するベンザインの効率的発生法の開発 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会 神戸 (2017/10/14)
奥田 健介	講演	小胞体ストレス応答を標的とした創薬化学研究 神戸薬科大学 学長裁量経費に基づく老化に関する学内共同研究プログラム 第1回公開報告会 神戸 (2017/2/3-4)
永澤 秀子, 平山 祐, 奥田 健介	講演	がん微小環境を標的とする創薬研究 第19回癌治療増感研究シンポジウム 奈良 (2017/2/3-4)
Shimoji M., Hara H., Kamiya T., Okuda K., Adachi T.	論文	Hydrogen sulfide ameliorates zinc-induced cell death in neuroblastoma SH-SY5Y cells <i>Free Radical Res.</i> 51(11-12) 978-985 doi: 10.1080/10715762.2017.1400666 (2017) 査読
Hirayama T., Mukaimine A., Nishigaki K., Tsuboi H., Hirose S., Okuda K., Ebihara M., Nagasawa H.	論文	Bismuth-rhodamine: a new red light-excitable photosensitizer <i>Dalton Trans.</i> 46(46) 15991-15995 doi: 10.1039/C7DT03194G (2017) 査読有り
Hirayama T., Tsuboi H., Niwa M., Kadota S., Miki A., Okuda K., Nagasawa H.	論文	A universal fluorogenic switch for Fe(II) ion based on N-oxide chemistry permits the visualization of intracellular redox equilibrium shift towards labile iron in hypoxic tumor cells <i>Chem. Sci.</i> 8(7) 4858-4866 doi: 10.1039/C6SC05457A (2017) 査読有り
神代悠希, 石原万己, 藤井さとみ, 安岡由美, 細田正洋, 岩岡和輝, 床次眞司, Miroslaw Janik, 武藤潤, 長濱裕幸, 向高 藤井さとみ, 新井友里愛, 安岡由美, 飯本武志, 床次眞司, Janik Miroslaw, 長濱裕幸, 武藤潤, 向高弘	プロシー ディング 学会報告	バブリング法による水中ラドン濃度測定について Proceeding of the 18th Workshop on Environmental Radioactivity 2017-6 333-338 (2017) 査読有り 活性炭型ラドン検出器による屋内ラドン濃度測定の検討 第67回日本薬学会近畿支部大会 神戸 (2017/10/14)
安岡由美, 長濱裕幸, 武藤潤, 大森康孝, 鈴木俊幸, 本間好, 山本文彦, 高橋克彦, 向高弘	学会報告	アイトープ実験施設の排気モニタによる東北地方太平洋沖地震(Mw9.0)に先行する大気中ラドン濃度変動の検討 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/26)
神代悠希, 石原万己, 藤井さとみ, 安岡由美, 細田正洋, 岩岡和輝, 床次眞司, Miroslaw Janik, 向高弘	学会報告	バブリング法による水中ラドン濃度測定について 第18回「環境放射能」研究会 つくば (2017/3/15)
Tanaka A., Minami N., Yasuoka Y., Iimoto T., Omori Y., Nagahama H., Muto J., Mukai T.	論文	Accurate measurement of indoor radon concentration using a low-effective volume radon monitor. <i>Radiation Protection Dosimetry</i> 177(3) 324-330 doi.org/10.1093/rpd/ncx050 (2017) 査読有り
Goto M., Yasuoka Y., Nagahama H., Muto J., Omori Y., Ihara H., Mukai T.	論文	Anomalous changes in atmospheric radon concentration before and after the 2011 northern Wakayama Earthquake (Mj 5.5) <i>Radiation Protection Dosimetry</i> 174(3) 412-418
城間 吉貴, 田邊 ともみ, 仲宗根 峻也, 神代 悠希, 岩岡 和輝, 細田 正洋, 安岡 由美, 赤田 尚史, 真田 哲也, 下 道國, 床次 眞司, 古川 雅英	学会報告	低バックグラウンド型液体シンチレーションカウンターを用いた水中ラドン濃度の測定 日本保健物理学会第50回研究発表会 日本放射線安全管理学会第16回学術大会合同大会 大分 (2017/6/29)
細田 正洋, 田邊 ともみ, 鈴木 崇仁, 玉熊 佑紀, 山田 椋平, 辻口 貴清, 岩岡 和輝, 安岡 由美, 城間 吉貴, 赤田 尚史, 真田 哲也, 床次 眞司	学会報告	湧水中のラドン濃度と経口摂取にともなう線量評価 日本保健物理学会第50回研究発表会 日本放射線安全管理学会第16回学術大会合同大会 大分 (2017/6/29)
岩田大地, 長濱裕幸, 武藤 潤, 安岡由美	学会報告	大気中ラドン濃度変動の対数周期振動べき乗則の変化点 日本地球惑星科学連合2017年大会 千葉市 (2017/5/20)

藤波 綾、二村 祥平、高橋 佑季、山本 真依子、脇野 薫、多河 典子、加藤 郁夫	学会報告	脂肪細胞とマクロファージの共培養系におけるTNF- α の分泌動態および高血糖、肥大化の影響 Con Bio 2017 神戸 (2017/12/6)
藤波綾、久保亮太、安部仁人、伊良原舞、高瀬真衣、二見早希、松村正範、多河典子、竹仲由希子、棚橋孝雄、加藤郁夫	学会報告	自然発症2型糖尿病モデルマウスにおける西洋ニンジン摂取の効果 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/26)
Imoto S, Kim SR, Amano K, Iio E, Yoon S, Hirohata S, Yano Y, Ishikawa T, Katsushima S, Komeda T, Fukunaga T, Chung H, Kokuryu H, Horie Y, Hatae T, Fujinami A, Kim SK, Kudo M, Tanaka Y.	論文	Serum IFN- λ 3 Levels Correlate with Serum Hepatitis C Virus RNA Levels in Symptomatic Patients with Acute Hepatitis C. <i>Dig Dis</i> 35(6) 531-540 (2017) 査読有り
Kuroda M, Muramatsu R, Maedera N, Koyama Y, Hamaguchi M, Fujimura H, Yoshida M, Konishi M, Itoh N, Mochizuki H,	論文	Peripherally derived FGF21 promotes remyelination in the central nervous system. <i>J Clin Invest</i> 127(9) 3496-3509 (2017) 査読有り
Kasubuchi M, Watanabe K, Hirano K, Inoue D, Li X, Terasawa K, Konishi M, Itoh N, and Kimura I.	論文	Membrane progesterone receptor beta (mPR β /Paqr8) promotes progesterone-dependent neurite outgrowth in PC12 neuronal cells via non-G protein-coupled receptor (GPCR) signaling. <i>Scientific Reports</i> 12:7(1) 5168 (2017) 査読有り
Miyake A., Mekata Y, Fujibayashi H, Nakanishi K, Konishi M, Itoh N.	論文	Brorin is required for neurogenesis, gliogenesis, and commissural axon guidance in the zebrafish forebrain. <i>PLoS One</i> 12(4) e0176036 (2017) 査読有り
Nakayama Y., Masuda Y., Ohta H, Tanaka T, Washida M, Nabeshima YI, Miyake A, Itoh N, Konishi M.	論文	Fgf21 regulates T-cell development in the neonatal and juvenile thymus. <i>Scientific Reports</i> 23:7(1) 330 (2017) 査読有り
Masuda Y., Nakayama Y., Tanaka A., Naito K., Konishi M.	論文	Antitumor activity of orally administered maitake α -glucan by stimulating antitumor immune response in murine tumor. <i>PLoS One</i> 12(3) e0173621 doi:10.1371/journal.pone.0173621 (2017) 査読有り
Kimura K, Hirota Y, Kuwahara S, Takeuchi A, Tode C, Wada A, Osakabe N, Suhara Y.	論文	Synthesis of Novel Synthetic Vitamin K Analogues Prepared by Introduction of a Heteroatom and a Phenyl Group That Induce Highly Selective Neuronal Differentiation of Neuronal Progenitor Cells. <i>J Med Chem</i> 60(6) 2591-2596 (2017) 査読有り
Kushiya A, Yamada S, Yoshino K, Kato Y, Takeuchi A, Sabourin LA, Cybulsky AV, Yamanoue M, Shirai Y, Ueda S	学会報告	Investigation of RhoA binding proteins using BioID system <i>The American Society for Cell Biology 2017 ASCB/IFCB Meeting Philadelphia</i> (2017/12/2-6)
Kato Y, Kokaji Y, Yoshino K, Takeuchi A, Yamanoue M, Shirai Y, Ueda S	学会報告	HSPB1 protein increases actomyosin ATPase activity of myofibrils fraction <i>The American Society for Cell Biology 2017 ASCB/IFCB Meeting Philadelphia</i> (スライディングを制御するRNA結合蛋白質の解析法の構築 第65回質量分析総合討論会 つくば (2017/5/17))
竹内敦子、竇田徹、吉野健一、松尾雅文	学会報告	化学修飾トリプシンの不都合な真実 第65回質量分析総合討論会 つくば (2017/5/17)
吉野健一、竹内敦子	学会報告	SMN遺伝子の変異が蛋白質の安定性に及ぼす影響 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/25)
SMN遺伝子の変異が蛋白質の安定性に及ぼす影響	学会報告	SMN遺伝子の変異が蛋白質の安定性に及ぼす影響 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/25)
都出 千里, 尾上 雅英, 中野 博明, 竹内 敦子	学会報告	固体NMRでみるロキソプロフェン製剤の経時変化 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/25)
吉野 健一、竹内 敦子	講演	化学修飾トリプシンの知られざる素顔 第21回 日本質量分析学会 北海道談話会 研究会 札幌 (2017/3/25)
Niba ETE, Ar Rochmah M, Harahap NIF, Awano H, Morioka I, Iijima K, Saito T, Saito K, Takeuchi A, Lai PS, Bouike Y,	論文	SMA Diagnosis: Detection of SMN1 Deletion with Real-Time mCOP-PCR System Using Fresh Blood DNA. <i>Kobe J Med Sci</i> 63(3) E80-E83 (2017) 査読有り
Shinohara M, Ar Rochmah M, Nakanishi K, Harahap NIF, Niba ETE, Saito T, Saito K, Takeuchi A, Bouike Y, Nishio H.	論文	New, Improved Version of the mCOP-PCR Screening System for Detection of Spinal Muscular Atrophy Gene (SMN1) Deletion. <i>Kobe J Med Sci</i> 63(2) E37-E40 (2017) 査読有り
Kaushik MK, Aritake K, Takeuchi A, Yanagisawa M, Urade Y.	論文	Octacosanol restores stress-affected sleep in mice by alleviating stress. <i>Sci Rep</i> 7(1) 8892-8892 (2017) 査読有り
Ar Rochmah M, Harahap NIF, Niba ETE, Nakanishi K, Awano H, Morioka I, Iijima K, Saito T, Saito K, Lai PS, Takeshima Y, Takeuchi A, Bouike Y, Okamoto M, Nishio	論文	Genetic screening of spinal muscular atrophy using a real-time modified COP-PCR technique with dried blood-spot DNA. <i>Brain Dev</i> 39(9) 774-782 (2017) 査読有り

Takarada T, Ar Rochmah M, Harahap NIF, Shinohara M, Saito T, Saito K, Lai PS, Bouike Y, Takeshima Y, Awano H, Morioka I, Iijima K, Nishio H, Takeuchi A.	論文	SMA mutations in SMN Tudor and C-terminal domains destabilize the protein. <i>Brain Dev</i> 39(7) 606-612 (2017) 査読無し
Zhang BJ, Shao SR, Aritake K, Takeuchi A, Urade Y, Huang ZL, Lazarus M, Qu WM.	論文	Interleukin-1 β induces sleep independent of prostaglandin D2 in rats and mice. <i>Neuroscience</i> 258-267 (2017) 査読有り
寺岡 麗子, 三宅 真衣, 伊藤 真依, 塩野 朋香, 沼田 千賀子, 中山 みずえ, 岡本 禎晃, 平井 みどり, 湯谷 玲子, 北河 修治, 坂根 稔康	論文	フィルムドレッシング材による1日1回型フェンタニルクエン酸塩経皮吸収型製剤の半量投与 医療薬学 43(12) 671-679 (2017) 査読有り
Teraoka R., Matsukawa M., Miyazaki T., Yutani R., Tode C., Sakane T.	学会報告	New preparation method for two crystal forms of ciprofloxacin saccharinate and their photostability and hygroscopic property 6th FIP Pharmaceutical Sciences World Congress 2017 Stockholm, Sweden
松川 美佐子, 宮崎 智子, 寺岡 麗子, 湯谷 玲子, 都出 千里, 坂根 稔康	学会報告	シプロフロキサシンサッカリン塩結晶多形の新規調製方法とその物理化学的特性および光安定性 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/27)
土居 千沙, 寺岡 麗子, 湯谷 玲子, 都出 千里, 坂根 稔康	学会報告	ブルフロキサシンとサッカリン塩及び種々の有機酸塩の光安定性及び熱安定性 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/27)
湯谷 玲子, 田原 花奈子, 穴戸 康剛, 寺岡 麗子, 北河 修治, 坂根 稔康	学会報告	他剤との混合に伴うサリチル酸ワセリン軟膏のレオロジー特性と経皮吸収性の変化 第27回日本医療薬学会年会 千葉 (2017/11/4)
田原 花奈子, 穴戸 康剛, 湯谷 玲子, 寺岡 麗子, 北河 修治, 坂根 稔康	学会報告	他剤との混合に伴うワセリン軟膏からのサリチル酸の経皮吸収性の変化 医療薬学フォーラム2017 第25回クリニカルファーマシーシンポジウム 鹿児島 (2017/7/1)
Tanaka A., Inoue D., Furubayashi T., Takayama K., Hayashi Y., Katsumi H., Sakane T., Yamamoto A.	学会報告	Transnasal delivery of peptide agonist specific to neuromedin U receptor 2 to the brain for the treatment of obesity 日本薬物動態学会第32回年会 東京 (2017/11/30)
Inoue D., Tanaka A., Katsumi H., Yamamoto A., Yutani R., Teraoka R., Sakane T., Furubayashi T.	学会報告	Direct delivery of CNS drugs to the brain by nasal application III: Pharmacokinetic analysis of the effect of glymphatic system on drug delivery to brain parenchyma 日本薬物動態学会第32回年会 東京 (2017/11/14)
Inoue D., Tanaka A., Katsumi H., Yamamoto A., Yutani R., Teraoka R., Sakane T., Furubayashi T.	学会報告	Direct Nose to Brain Delivery of CNS Drugs: The effect of Glymphatic System on Pharmacokinetics and Brain Distribution of Sulpiride after Nasal Application 2017 AAPS Annual Meeting and Exposition SanDiego, USA (2017/11/14)
Furubayashi T., Izumi N., Inoue D., Moriyama K., Tanaka A., Katsumi H., Yamamoto A., Yutani R., Teraoka R., Sakane T.	学会報告	Measurement of dissolution profiles of powdery drugs by Raman spectroscopy and its application to prediction of nasal drug absorption 2017 AAPS Annual Meeting and Exposition SanDiego, USA (2017/11/14)
出口 千裕, 寺岡 麗子, 矢倉 裕輝, 湯谷 玲子, 坂根 稔康	学会報告	テノホビルのプロドラッグを含有する2種類の抗HIV薬の簡易懸濁法適用の可否 第27回日本医療薬学会年会 千葉 (2017/11/5)
三木 奏人, 田路 隆了, 湯谷 玲子, 寺岡 麗子, 坂根 稔康	学会報告	ワセリンを基剤とする軟膏剤の特性に及ぼす攪拌操作及び温度の影響 第27回日本医療薬学会年会 千葉 (2017/11/5)
Inoue D., Tanaka A., Katsumi H., Yamamoto A., Yutani R., Teraoka R., Sakane T., Furubayashi T.	学会報告	Direct Nose to Brain Delivery of CNS Drugs: The Effect of Glymphatic System on Drug Distribution in Brain Parenchyma 第11回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム 京都 (2017/10/21)
Tanaka A., Inoue D., Furubayashi T., Takayama K., Hayashi Y., Katsumi H., Sakane T., Yamamoto A.	学会報告	Transnasal delivery of peptide agonist specific to neuromedin U receptor 2 to the brain for the treatment of obesity 第11回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム 京都 (2017/10/21)
Yutani R., Tawara K., Shishido Y., Teraoka R., Kitagawa S., Sakane T.	学会報告	Effects of mixing with other ointments and creams on rheological properties of salicylic acid ointment and skin permeation of salicylic acid 第11回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム 京都 (2017/10/21)
田中 佑果, 勝見 英正, 磯部 友吾, 矢木 夕美子, 坂根 稔康, 山本 昌	学会報告	アスパラギン酸修飾を用いた骨標的化リポソームの開発 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会 神戸 (2017/10/21)

西村 英里香, 坂田 詩織, 木村 峻輔, 喜里山 暁子, 坂根 稔康, 伊賀 勝美	学会報告	新規生体膜透過機構に基づいた難水溶性薬物フロセミドの吸収性改善 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会 神戸 (2017/10/14)
田中 晶子, 古林 呂之, 井上 大輔, 勝見 英正, 坂根 稔康, 山本 昌	学会報告	処方最適化による粉末製剤化医薬品の経鼻吸収性の改善— 製剤添加物による吸収性の精密制御の可能性 — 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会 神戸
月森 千尋, 草森 浩輔, 高山 幸, 西川 元也, 勝見 英正, 坂根 稔康, 山本 昌	学会報告	ドキシソルピシン封入リポソーム修飾による間葉系幹細胞の機能化とがん治療への応用 第33回日本DDS学会学術集会 京都 (2017/7/7)
巽 恒太, 田中 晶子, 井上 大輔, 古林 呂之, 草森 浩輔, 勝見 英正, 坂根 稔康, 山本 昌	学会報告	鼻腔—脳間の直接的薬物移行経路を介した薬物の脳移行性:薬物物性と投与剤形との関係 第33回日本DDS学会学術集会 京都 (2017/7/7)
天野 真弓, 田中 晶子, 武田 康嗣, 高山 健太郎, 井上 大輔, 古林 呂之, 草森 浩輔, 勝見 英正, 坂根 稔康, 林 良雄, 山本 昌	学会報告	鼻腔内投与によるニューロメジン誘導体の脳内送達:新規肥満治療法の開発 第33回日本DDS学会学術集会 京都 (2017/7/7)
田中 晶子, 新井 真理, 井上 大輔, 古林 呂之, 草森 浩輔, 勝見 英正, 坂根 稔康, 山本 昌	学会報告	Oxytocinの鼻腔内投与:直接移行経路を介した脳内送達の可能性 第33回日本DDS学会学術集会 京都 (2017/7/7)
井上 大輔, 田中 晶子, 草森 浩輔, 勝見 英正, 山本 昌, 坂根 稔康, 古林 呂之	学会報告	鼻腔内投与による脳への薬物送達 II :Glymphatic Systemの影響 第33回日本DDS学会学術集会 京都 (2017/7/6)
泉 なな, 井上 大輔, 田中 晶子, 草森 浩輔, 勝見 英正, 山本 昌, 坂根 稔康, 古林 呂之	学会報告	ラマン分光法を利用した粉末状薬物の経鼻吸収性推定法の構築 第33回日本DDS学会学術集会 京都 (2017/7/6)
宮崎 愛梨, 草森 浩輔, 辻村 真里, 西川 元也, 勝見 英正, 坂根 稔康, 山本 昌	学会報告	安全な細胞移植治療を目的とした自殺遺伝子による細胞増殖制御法の確立 第33回日本DDS学会学術集会 京都 (2017/7/6)
中山 加菜恵, 寺岡 麗子, 黒田 英津子, 青木 菜摘, 入江 穂花, 湯谷 玲子, 坂根 稔康	学会報告	在宅中心静脈栄養法を適用するための注射剤混合高カロリー輸液の安定性評価 —エルネオバ輸液にリンデロン注を混合した場合— 医療薬学フォーラム2017 第25回クリニカルファーマシーシンポジウム 鹿児島 (2017/7/1)
古林 呂之, 井上 大輔, 田中 晶子, 勝見 英正, 山本 昌, 湯谷 玲子, 寺岡 麗子, 坂根 稔康	学会報告	経鼻ルートを介した薬物の頸部リンパ節ターゲティングと速度論解析 医療薬学フォーラム2017 第25回クリニカルファーマシーシンポジウム 鹿児島 (2017/7/1)
田中 晶子, 竹村 有希, 武田 康嗣, 高山 健太郎, 井上 大輔, 古林 呂之, 勝見 英正, 坂根 稔康, 山本 昌	学会報告	鼻腔内投与による生理活性ペプチドCPN-116の脳内送達 医療薬学フォーラム2017 第25回クリニカルファーマシーシンポジウム 鹿児島 (2017/7/1)
井上 大輔, 岡田 実, 田中 晶子, 勝見 英正, 山本 昌, 坂根 稔康, 古林 呂之	学会報告	薬物の経鼻吸収性予測システムの構築:培養細胞評価系によるin vivo鼻粘膜透過性の推定 医療薬学フォーラム2017 第25回クリニカルファーマシーシンポジウム 鹿児島 (2017/7/1)
Yutani R., Tsutsumi Y., Teraoka R., Sakane T.	学会報告	Microemulsions using sucrose laurate with various co-surfactants and their application to intradermal delivery of (-)-epicatechin 6th FIP Pharmaceutical Sciences World Congress 2017 Stockholm, Sweden
Inoue D., Tanaka A., Kusamori K., Katsumi H., Yamamoto A., Sakane T., Furubayashi T.	学会報告	Nose to Brain Direct Delivery of CNS Drugs: Effect of Glymphatic System on Brain Pharmacokinetics and Distribution after Intranasal Application 6th FIP Pharmaceutical Sciences World Congress 2017 Stockholm, Sweden (2017/5/22)
Tanaka A., Maeda C., Amano M., Taketa K., Takayama K., Hayashi Y., Inoue D., Furubayashi T., Kusamori K., Katsumi H., Sakane T., Yamamoto A.	学会報告	Transnasal delivery of the peptide to the brain 6th FIP Pharmaceutical Sciences World Congress 2017 Stockholm, Sweden (2017/5/22)
松本 祐樹, 寺岡 麗子, 湯谷 玲子, 坂根 稔康	学会報告	市販リマプロスタアルファデクス錠の分解速度の湿度依存性 日本薬剤学会第32年会 さいたま (2017/5/13)
古林 呂之, 井上 大輔, 田中 晶子, 草森 浩輔, 勝見 英正, 山本 昌, 坂根 稔康	学会報告	薬物の経鼻吸収性予測におけるヒト呼吸器系初代培養細胞の適合性 日本薬剤学会第32年会 さいたま (2017/5/13)
田中 晶子, 巽 恒太, 井上 大輔, 古林 呂之, 草森 浩輔, 勝見 英正, 坂根 稔康, 山本 昌	学会報告	鼻腔内投与された薬物の脳移行性評価:薬物物性と投与剤形との関係 日本薬剤学会第32年会 さいたま (2017/5/13)
山本 昌, 中矢 有華, 高屋 麻由, 日夏 優太, 西躰 文香, 金田 彩花, 草森 浩輔, 勝見 英正, 坂根 稔康	学会報告	N-アシルアミノ塩及びN-アシルタウリン塩によるアレンドロネートの消化管吸収性の改善ならびに吸収促進機構の解明 日本薬剤学会第32年会 さいたま (2017/5/13)

近藤 綾香, 杉本 寛明, 倉谷 千愛, 草森 浩輔, 勝見 英正, 坂根 稔康, 山本 昌	学会報告	片頭痛治療薬スマトリプタンの経肺吸収性の評価ならびに吸収促進剤による吸収性の改善 日本薬剤学会第32年会 さいたま (2017/5/13)
井上 大輔, 田中 晶子, 草森 浩輔, 勝見 英正, 山本 昌, 坂根 稔康, 古林 呂之	学会報告	経鼻投与後のCaffeineの脳内移行に対するGlymphatic Systemの影響 日本薬剤学会第32年会 さいたま (2017/5/13)
新井 真理, 田中 晶子, 井上 大輔, 古林 呂之, 草森 浩輔, 勝見 英正, 坂根 稔康, 山本 昌	学会報告	Oxytocinの鼻腔内投与:直接移行経路を介した脳内送達の可能性 日本薬剤学会第32年会 さいたま (2017/5/13)
堺 香輔, 勝見 英正, 杉浦 真優, 草森 浩輔, 坂根 稔康, 山本 昌	学会報告	高分子型硫化水素供与体の開発と酸化ストレス疾患治療への応用 日本薬剤学会第32年会 さいたま (2017/5/13)
Kasirawat S., 草森 浩輔, 勝見 英正, 坂根 稔康, 山本 昌	学会報告	Effects of various pharmaceutical excipients on the intestinal transport and absorption of sulfasalazine, a typical BCRP substrate 日本薬剤学会第32年会 さいたま (2017/5/11)
田路 隆了, 湯谷 玲子, 寺岡 麗子, 坂根 稔康	学会報告	攪拌操作に伴う白色ワセリンのレオロジー特性の経時的変化 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/27)
古林 呂之, 井上 大輔, 田中 晶子, 草森 浩輔, 勝見 英正, 坂根 稔康, 山本 昌	学会報告	各種培養細胞系の薬物経鼻吸収性評価に対する適合性比較 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/27)
木村 峻輔, 喜里山 暁子, 加藤 萌音, 西村 英里佳, 坂田 詩織, 荒木 加永子, 榎村 眞一, 草森 浩輔, 勝見 英正, 坂根 稔康, 山本 昌, 伊賀 勝美	学会報告	新規生体膜透過機構に基づいた難水溶性薬物クルクミンの吸収性改善 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/25)
田中 晶子, 新井 真理, 井上 大輔, 古林 呂之, 草森 浩輔, 勝見 英正, 坂根 稔康, 山本 昌	学会報告	Oxytocinの鼻腔内投与:直接移行経路を介した脳内送達の可能性 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/25)
坂根 稔康, 田中 晶子, 竹村 有希, 湯谷 玲子, 寺岡 麗子, 武田 康嗣, 高山 健太郎, 草森 浩輔, 勝見 英正, 林 良雄, 山本 昌	学会報告	鼻腔内投与によるCPN-116の脳内送達 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/25)
Inoue D., Tanaka A., Kusamori K., Katsumi H., Yamamoto A., Sakane T., Furubayashi T.	学会報告	Effect of Glymphatic Pathway System on Direct Delivery of Caffeine from Nose to Brain <i>International Symposium on Drug Delivery and Pharmaceutical Sciences</i> Kyoto, Japan (2017/3/9)
Furubayashi T., Inoue D., Tanaka A., Kusamori K., Katsumi H., Yamamoto A., Sakane T.	学会報告	Comparison of some cultured cell lines and the three dimensional mucociliary tissue model system for nasal absorption study to estimate the drug permeability II <i>International Symposium on Drug Delivery and Pharmaceutical Sciences</i> Kyoto, Japan (2017/3/9)
Tanaka A., Arai M., Inoue D., Furubayashi T., Kusamori K., Katsumi H., Sakane T., Yamamoto A.	学会報告	Transnasal delivery of oxytocin to the brain for the treatment of autism <i>International Symposium on Drug Delivery and Pharmaceutical Sciences</i> Kyoto, Japan (2017/3/9)
Sakane T., Yutani R., Teraoka R., Tanaka A., Takemura Y., Taketa K., Takayama K., Hayashi Y., Kusamori K., Katsumi H.,	学会報告	Transnasal delivery of the peptide to the brain <i>International Symposium on Drug Delivery and Pharmaceutical Sciences</i> Kyoto, Japan (2017/3/9)
坂根 稔康	講演	薬物の鼻腔内投与:薬物の吸収と投与後の分布の特徴 第27回日本医療薬学会年会 千葉 (2017/11/4)
坂根 稔康	著書	製剤学・物理薬剤学 53-114 (2017) 廣川書店
Li X., Kawamura A., Sato Y., Morishita M., Kusamori K., Katsumi H., Sakane T., Yamamoto A.	論文	Improvement of the Solubility and Intestinal Absorption of Curcumin by N-Acyl Taurates and Elucidation of the Absorption-Enhancing Mechanisms <i>Biol. Pharm. Bull.</i> 40(12) 2175-2182 (2017) 査読有り
Takayama Y., Kusamori K., Hayashi M., Tanabe N., Matsuura S., Tsujimura M., Katsumi H., Sakane T., Nishikawa M.,	論文	Long-term drug modification to the surface of mesenchymal stem cells by the avidin-biotin complex method <i>Sci. Rep.</i> 7 16953 (2017) 査読有り
Katsumi H., Tanaka Y., Hitomi K., Liu S., Quan Y.-S., Kamiyama F., Sakane T., Yamamoto A.	論文	Efficient Transdermal Delivery of Alendronate, a Nitrogen-Containing Bisphosphonate, Using Tip-Loaded Self-Dissolving Microneedle Arrays for the Treatment of Osteoporosis <i>Pharmaceutics</i> 9(3) 29-39 (2017) 査読有り
Yamashita S., Katsumi H., Hibino N., Isobe Y., Yagi Y., Kusamori K., Sakane T., Yamamoto A.	論文	Development of PEGylated carboxylic acid-modified polyamidoamine dendrimers as bone-targeting carriers for the treatment of bone diseases <i>J. Control. Release</i> 262 10-17 (2017) 査読有り

Takayama K., Mori K., Tanaka A., Nomura E., Sohma Y., Mori M., Taguchi A., Taniguchi A., Sakane T., Yamamoto A., Minamino N., Miyazato M., Kangawa K., Tanaka A., Furubayashi T., Enomura Y., Hori T., Shimomura R., Maeda C., Kimura S., Inoue D., Kusamori K., Katsumi H., Sakane T., Yamamoto A.	論文	Discovery of a human neuromedin U receptor 1-selective hexapeptide agonist with enhanced serum stability <i>J. Med. Chem.</i> 60 5228-5234 (2017) 査読有り
Tanaka A., Furubayashi T., Enomura Y., Hori T., Shimomura R., Maeda C., Kimura S., Inoue D., Kusamori K., Katsumi H., Sakane T., Yamamoto A.	論文	Nasal Drug Absorption from Powder Formulations: Effect of Fluid Volume Changes on the Mucosal Surface <i>Biol. Pharm. Bull.</i> 40(2) 212-219 (2017) 査読有り
Tanaka A., Furubayashi T., Tomisaki M., Kawakami M., Kimura S., Inoue D., Kusamori K., Katsumi H., Sakane T.,	論文	Nasal drug absorption from powder formulations: The effect of three types of hydroxypropyl cellulose (HPC) <i>Eur. J. Pharm. Sci.</i> 96 284-289 (2017) 査読有り
Adachi M., Hinatsu Y., Kusamori K., Katsumi H., Sakane T., Nakatani M., Wada K., Yamamoto A.	論文	Effects of Manufacturing Methods on Dissolution and Absorption of Ketoconazole in the Presence of Organic Acid as a pH Modifier <i>AAPS PharmSciTech</i> 18(4) 1203-1212 (2017) 査読有り
沖津 貴志、松山 武、山下 高廣、石塚 徹、八尾 寛、今元 泰、七田 芳則、和田 昭盛	解説	レチナール由来エナミン型Schiff塩基を発色団とする非共有結合型チャンネルロドプシンの開発 <i>ビタミン</i> 91(7) 426-429 (2017) 査読無し
金子 明正、高山 理穂、沖津 貴志、角田 聡、塚本 卓、下野 和実、水野 操、神取 秀樹、水谷 泰久、和田 昭盛、須藤 雄気	学会報告	ビニル基挿入レチナール誘導体による光閉鎖型プロトンチャンネルの創成 科学技術振興機構・戦略的創造研究推進事業・CREST「ファイバーレス光遺伝学による高次脳機能を支える本能機能の解明」第2回ワークショップ 下呂 (2017/11/28-29)
沖津 貴志、水谷 卓史、長綱 優行、山野 由美子、和田 昭盛	学会報告	近赤外光を吸収する人工ChR作製を指向したシアニン色素型発色団の開発 日本レチノイド研究会第28回学術集会 神戸 (2017/11/18)
沖津 貴志、苗村 彰浩、近藤 審治、多田 翔耶、和田 昭盛	学会報告	イナミドのヨード環化反応を利用した中員環エーテルの即時合成 第43回反応と合成の進歩シンポジウム 富山 (2017/11/6)
山野 由美子、榎本 美季、高市 真一、和田 昭盛	学会報告	Mixolおよびdeoxymyxol立体異性体の全合成とキラルHPLC分析による天然物の立体配置の決定 第31回カロテノイド研究談話会 京都 (2017/9/17)
田中 大輔、細川 雅史、宮下 和夫、山野 由美子、和田 昭盛	学会報告	フコキサンチン開裂物の炎症因子産生抑制効果 第31回カロテノイド研究談話会 京都 (2017/9/17)
沖津 貴志、苗村 彰浩、近藤 審治、多田 翔耶、和田 昭盛	学会報告	イナミドのヨード環化反応を利用した6, 7, 8員環エーテルの構築 第20回ヨウ素学会シンポジウム 千葉 (2017/9/17)
沖津 貴志、赤銅 麻鈴、竹内 沙弥、和田 昭盛	学会報告	σ -求核剤を用いた3-メチレン-4-アミド-1,2-ジアゼチジンへの求核的開環反応 第37回有機合成若手セミナー「明日の有機合成を担う人のために」 京都 (2017/9/17)
平岡 敬子、柏原 里香、和田 昭盛	学会報告	13位を13Cでラベルしたレチナールの別途合成法の開発 日本ビタミン学会第69回大会 横浜 (2017/6/10)
金子 明正、高山 理穂、塚本 卓、沖津 貴志、和田 昭盛、水谷 泰久、須藤 雄気	学会報告	14-extended-A2 retinalを内包した人工光受容分子の機能的、分光学的解析 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/25)
沖津 貴志、苗村 彰浩、近藤 審治、和田 昭盛	学会報告	イナミドのヨード環化反応を用いたエーテル環構築 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/25)
沖津 貴志、福田 一起、蓑田 翔平、村井 美友、和田 昭盛	学会報告	金触媒によるシリルアルキンの分子内ヒドロアミノ化 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/25)
山野 由美子、榎本 美季、和田 昭盛	学会報告	Myxolおよびdeoxymyxol立体異性体の全合成と天然物の立体配置の決定 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/25)
Sakane, R.; Kimura, K.; Hirota, Y.; Isizawa, M.; Takagi, Y.; Wada, A.; Kuwahara, S.; Makishima, M.; Suhara, Y.	論文	Synthesis of novel vitamin K derivatives with alkylated phenyl groups introduced at the ω -terminal side chain and evaluation of their neural differentiation activities <i>Bioorg. Med. Chem. Lett.</i> 27(21) 4881-4884 10.1016/j.bmcl.2017.09.038 (2017) 査読有り
Yamano, Y.; Sasaki, H.; Wada, A.	論文	Versatile Amine-Promoted Mild Methanolysis of 3,5-Dinitrobenzoates and Its Application to the Synthesis of Colorado Potato Beetle Pheromone <i>Chem. Pharm. Bull.</i> 65(10) 940-944 10.1248/cpb.c17-00462 (2017) 査読有り
Okitsu, T.; Kobayashi, K.; Kan, R.; Yoshida, Y.; Matsui, Y.; Wada, A.	論文	3-Methylene-4-amido-1,2-diazetidene as a Formal 1,4-Dipole Precursor: Lewis Acid-Catalyzed Nucleophilic Addition with Silylated Nucleophiles <i>Org. Lett.</i> 19(17) 4592-4595

Terai, Y.; Miyagi, R.; Aibara, M.; Mizoiri, S.; Imai, H.; Okitsu, T.; Wada, A.; Takahashi-Kariyazono, S.; Sato, A.; Tichy, H.; Mrosso, H. D. J.; Mzighani, S. I.; Okada, N. Kojima, K.; Matsutani, Y.; Yamashita, T.; Yanagawa, M.; Imamoto, Y.; Yamano, Y.; Wada, A.; Hisatomi, O.; Nishikawa, K.; Sakurai, K.; Shichida, Y.	論文	Visual adaptation in Lake Victoria cichlid fishes: depth-related variation of color and scotopic opsins in species from sand/mud bottoms <i>BMC Evol. Biol.</i> 17 10.1186/s12862-017-1040-x (2017) 査読有り
Okitsu, T.; Matsuyama, T.; Yamashita, T.; Ishizuka, T.; Yawo, H.; Imamoto, Y.; Shichida, Y.; Wada, A.	論文	Adaptation of cone pigments found in green rods for scotopic vision through a single amino acid mutation <i>Proc. Natl. Acad. Sci. U. S. A.</i> 114(21) 5437-5442 10.1073/pnas.1620010114 (2017) 査読有り
Yamano, Y.; Nishiyama, Y.; Aoki, A.; Maoka, T.; Wada, A.	論文	Alternative Formation of Red-Shifted Channelrhodopsins: Noncovalent Incorporation with Retinal-Based Enamine-Type Schiff Bases and Mutated Channelopsin <i>Chem. Pharm. Bull.</i> 65(4) 356-358 10.1248/cpb.c17-00054 (2017) 査読有り
Shigeta, A.; Ito, S.; Inoue, K.; Okitsu, T.; Wada, A.; Kandori, H.; Kawamura, I.	論文	Total synthesis of lycopene-5,6-diol and γ -carotene-5',6'-diol stereoisomers and their HPLC separation <i>Tetrahedron</i> 73(15) 2043-2052 10.1016/j.tet.2017.02.048 (2017) 査読有り
Kimura H., Mikawa S., Mizuguchi C., Horie Y., Morita I., Oyama H., Ohgita T., Nishitsuji K., Takeuchi A., Lund-Katz S., Akaji K., Kobayashi N., Saito H.	論文	Solid-State Nuclear Magnetic Resonance Structural Study of the Retinal-Binding Pocket in Sodium Ion Pump Rhodopsin <i>Biochemistry</i> 56(4) 543-550 10.1021/acs.biochem.6b00999 (2017) 査読有り
三河 志穂, 木村 仁, 森田 はずみ, 大山 浩之, 小林 典裕, 斎藤 博幸	学会報告	Immunochemical Approach for Monitoring of Structural Transition of ApoA-I upon HDL Formation Using Novel Monoclonal Antibodies <i>Sci. Rep.</i> 7 2988 doi/10.1038/s41598-017-03208-8 (2017) 査読
森田 はずみ, 神田 結, 安尾 まゆみ, 伊藤 綾, 大山 浩之, 小林 典裕	学会報告	ApoA-I構造特異抗体の開発に向けた抗体評価系の確立 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/25)
大山 浩之, 木口 裕貴, 井上 由香莉, 高嶺 百合子, 藤原 若菜, 森田 はずみ, 小林 典裕, 大山 浩之, 森田 はずみ, 木口 裕貴	学会報告	オンサイト免疫測定法を目的としたモノクローナル抗ケタミン抗体の新規調製 日本分析化学会66年会 葛飾 (2017/9/11)
森田 はずみ, 大山 浩之, 神田 結, 安尾 まゆみ, 伊藤 綾, 小林 典裕	学会報告	高親和力を保持した抗エストロジオールscFv最少変異体調製の試み 日本分析化学会66年会 葛飾 (アッセイ感度の向上を目指す「抗体育種」: 抗コチニン抗体を例として 日本法中毒学会第36年会 品川 (新規モノクローナル抗ケタミン抗体の作製とその諸性質 日本法中毒学会第36年会 品川 (2017/7/6)
大山 浩之, 森田 はずみ, 松田 和久, 片木 謙吾, 小林 典裕, 田中 宏幸, 森元 聡	学会報告	抗 Δ^9 -テトラヒドロカンナビノール一本鎖Fvフラグメントの作製と試験管内親和性成熟 日本法中毒学会第36年会 品川 (2017/7/6)
Morita I., Oyama H., Tanaka H., Morimoto S., Kobayashi N.	学会報告	In vitro affinity maturation of a single-chain Fv fragment for on-site testing of cannabinoids <i>European Congress of Clinical Chemistry and Laboratory Medicine Athens</i> (2017/6/12)
Oyama H., Morita I., Niwa T., Kobayashi N.	学会報告	Utility of Gaussia luciferase as a fusion partner with scFvs for bioluminescent immunoassays testing clinical biomarkers <i>European Congress of Clinical Chemistry and Laboratory Medicine Athens</i> (
三河志穂、木村仁、森田はずみ、大山浩之、小林典裕、斎藤博幸	学会報告	ApoA-I構造特異抗体の開発に向けた抗体評価系の確立 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/25)
小高 謙一, 入江 俊章, 福村 利光, 田所 裕之, 小室 一成, 荒野 泰, 上原 知也, 秋澤 宏行, 小林 典裕, 吉田 利通, 吉田 恭子, 廣江 道昭	特許	核医学診断装置の制御法、核医学診断装置、および診断剤キット 特許第6241912 (2017)
Oyama H., Morita I., Kiguchi Y., Banzono E., Ishii K., Kubo S., Watanabe Y., Hirai A., Kaede C., Ohta M., Kobayashi N.	論文	One-Shot In Vitro Evolution Generated an Antibody Fragment for Testing Urinary Cotinine with More Than 40-Fold Enhanced Affinity <i>Anal. Chem.</i> 89(1) 988-995 doi/10.1021/acs.analchem.6b04332 (2017)
Morita I., Oyama H., Yasuo M., Matsuda K., Katagi K., Ito A., Tatsuda H., Tanaka H., Morimoto S., Kobayashi N.	論文	Antibody Fragments for On-site Testing of Cannabinoids Generated via in Vitro Affinity Maturation <i>Biol. Pharm. Bull.</i> 40(2) 174-181 doi.org/10.1248/bpb.b16-00669 (2017) 査読有り
Oyama H., Morita I., Kiguchi Y., Morishita T., Fukushima S., Nishimori Y., Niwa T., Kobayashi N.	論文	A Single-Step "Breeding" Generated a Diagnostic Anti-cortisol Antibody Fragment with Over 30-Fold Enhanced Affinity <i>Biol. Pharm. Bull.</i> 40(12) 2191-2198 doi.org/10.1248/bpb.b17-00633 (2017) 査

灘中 里美, 粟津 朋代, 尾ノ井 孝一, 石野 敦重, 灘井 めぐみ, 小川 侑佳,	学会報告	硫酸化糖鎖の合成制御異常が脳の発生に与える影響 ConBio2017 神戸 (2017/12/6-9)
内藤 裕子, 三松 舞, 後藤 倫子, 林 剛史, 門松 健治, 北川 裕之	学会報告	6位硫酸化コンドロイチン硫酸欠損による神経機能障害 ConBio2017 神戸 (2017/12/6-9)
北澤 和之, 灘中 里美, 門松 健治, 北川 裕之	学会報告	6-硫酸化コンドロイチンの減少により起こる表皮過形成 ConBio2017 神戸 (2017/12/6-9)
志田 美春, 三上 雅久, 北川 裕之	学会報告	コンドロイチン硫酸Dによる神経突起伸長の促進機能の解析 ConBio2017 神戸 (2017/12/6-9)
Goto S., Fujii H., Nadanaka S., Watanabe K., Watanabe S., Kono K., Nakanishi S., Kim J.-I., Kitagawa H., Nishi S.	学会報告	Change in EXTL2, A Novel Factor Related to Vascular Calcification, in Hemodialysis Patients. <i>KIDNEY WEEK 2017</i> New Orleans (2017/10/31-11/5)
後藤 美沙希, 清水 菜央, 松丘 佳也, 團野 優華, 三上 雅久, 北川 裕之	学会報告	コンドロイチン硫酸鎖を介した破骨細胞分化・成熟制御メカニズムに関する解析 第67回日本薬学会近畿支部大会 神戸 (2017/10/14)
梅原 せいら, 宮武 卓海, 松浦 綾香, 木村 侑希子, 三上 雅久, 北川 裕之	学会報告	コンドロイチン硫酸鎖の発現制御による神経筋接合部の安定形成に関する解析 第67回日本薬学会近畿支部大会 神戸 (2017/10/14)
志田 美春, 三上 雅久, 田村 純一, 北川 裕之	学会報告	ナマコ由来フコシル化コンドロイチン硫酸における神経突起伸長活性の解析 第67回日本薬学会近畿支部大会 神戸 (2017/10/14)
野村 一也, 金氣 菜々子, 松田 采子, 力武 茉莉花, 任 建宇, 野村 和子, 村田 大輔, 出嶋 克史, 三谷 昌平, 北川 裕之, 山本 健, 鹿内 俊秀, 鈴木 芳典, 成松 久, 田代 康介, 平林 義雄, 伊東 灘中 里美, 木内 啓貴, 戸田 亜梨沙, 山田 純子, 芥川 美沙, 中松 英梨, 鴻池 勢津子, 立花 真奈美, 榮 菜穂, 北伊藤 孝司, 西岡 宗一郎, 小林 功, 原園 景, 松崎 祐二, 飯野 健太, 山本 憲二, 灘中 里美, 北川 裕之, 日高 朋, 辻大輔, 石井 明子, 瀬筒 秀樹	学会報告	モデル生物線虫 <i>C. elegans</i> を用いた糖鎖難病解析の突破口 第36回日本糖質学会年会 旭川 (2017/7/19-21)
灘中 里美, 木内 啓貴, 戸田 亜梨沙, 山田 純子, 芥川 美沙, 中松 英梨, 鴻池 勢津子, 立花 真奈美, 榮 菜穂, 北伊藤 孝司, 西岡 宗一郎, 小林 功, 原園 景, 松崎 祐二, 飯野 健太, 山本 憲二, 灘中 里美, 北川 裕之, 日高 朋, 辻大輔, 石井 明子, 瀬筒 秀樹	学会報告	コンドロイチン硫酸がN-カドヘリン/ β -カテニン経路の活性化を介して乳がん細胞の浸潤を促進する 第36回日本糖質学会年会 旭川 (2017/7/19-21)
田村 純一, 松下 健也, 中田 有美, 武田-奥田 尚子, 灘中 里美, 北川 裕之	学会報告	エンドグリコシダーゼの糖鎖転移活性を利用するネオグライコ酵素の創製とリソソーム病治療薬開発 第36回日本糖質学会年会 旭川 (2017/7/19-21)
田村 純一, 松下 健也, 中田 有美, 武田-奥田 尚子, 灘中 里美, 北川 裕之	学会報告	ビオチン化コンドロイチン硫酸四糖の合成と抗糖鎖抗体との統合活性 第36回日本糖質学会年会 旭川 (2017/7/19-21)
内藤 裕子, 三松 舞, 後藤 倫子, 林 剛史, 門松 健治, 北川 裕之	学会報告	6位硫酸化コンドロイチン硫酸欠損マウスにおける統合失調症様症状の発現 第36回日本糖質学会年会 旭川 (2017/7/19-21)
三上 雅久, 高田 哲朗, 浅野 清次朗, 重廣 充孝, 北川 裕之	学会報告	コンドロイチン硫酸鎖による破骨細胞分化の制御メカニズムの解析 第36回日本糖質学会年会 旭川 (2017/7/19-21)
Miyata S., Sato C., Kitajima K., and Kitagawa H.	学会報告	Interactions of the extracellular matrix components in the brain microenvironment affect neuronal migration and morphogenesis during cortical development. 第40回日本神経科学大会 千葉 (2017/7/20-23)
灘中 里美, 北川 裕之	学会報告	低分子化合物を用いてコンドロイチン硫酸の生合成機構を操作し細胞機能を制御する 第1回神戸市医療産業都市ポスター展示会・交流会 神戸 (2017/5/12)
三上 雅久, 高田 哲朗, 浅野 清次朗, 重廣 充孝, 北川 裕之	学会報告	コンドロイチン硫酸鎖による破骨細胞分化制御機構の解析 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/24-27)
志田 美春, 三上 雅久, 北川 裕之	学会報告	神経細胞の分化過程における高硫酸化コンドロイチン硫酸鎖の受容体の同定 平成28年度 新学術領域「神経糖鎖生物学」最終班会議 名古屋 (2017/3/3-4)
灘中 里美,	学会報告	ヘパラン硫酸の生合成制御による抑制性神経細胞の増殖調節 平成28年度 新学術領域「神経糖鎖生物学」最終班会議 名古屋 (2017/3/3-4)
北川 裕之	講演	限定的な硫酸化修飾を受けたコンドロイチン硫酸プロテオグリカンによる骨リモデリングの制御 ConBio2017 神戸 (2017/12/7)
北川 裕之	講演	コンドロイチン硫酸の硫酸化構造による神経機能の制御 第60回日本神経化学学会大会 仙台 (2017/9/7-9)
北川 裕之	講演	女性ホルモンの減少に伴うコンドロイチン硫酸の構造変化と疾患 神戸薬科大学 学長裁量経費に基づく老化に関する学内共同研究プログラム 第1回公開報告会 神戸 (2017/6/24)

Kitagawa H.	講演	Glycosaminoglycans in neural development. <i>CEREBRAL CORTEX PLASTICITY: IN AND AROUND FAST-SPIKING INHIBITORY INTERNEURONS</i> COLLEGE DE FRANCE (2017/5/4)
北川 裕之	講演	コンドロイチン硫酸の機能解析に基づく疾患糖鎖生物学-革新的治療薬の開発を目指して- 東京理科大学総合研究院バイオオルガノメタリクス研究部門研究交流会 東京 (2017/3/7)
北川 裕之	講演	神経細胞への分化過程におけるプロテオグリカンの糖鎖修飾制御機構 平成28年度 新学術領域「神経糖鎖生物学」最終班会議 名古屋 (2017/3/3-4)
灘中 里美, 北川 裕之	総説	がんの発生と進行に関わるヘパラン硫酸 生化学 第89巻 第5号 681-688 (2017) 査読無し
Mikami T., and Kitagawa H.	総説	Sulfated glycosaminoglycans: their distinct roles in stem cell biology. <i>Glycoconjugate J.</i> 34 725-735 doi:10.1007/s10719-016-9732-9 (2017) 査読有
Miyata S., and Kitagawa H.	総説	Formation and remodeling of the brain extracellular matrix in neural plasticity: Roles of chondroitin sulfate and hyaluronan. <i>Biochim. Biophys. Acta.</i> 1861 (10) 2420-2434. doi:10.1016/j.bbagen.2017.06.010 (
Yoshioka N., Miyata S., Tamada A., Watanabe Y., Kawasaki A., Kitagawa H., Takao K., Miyokawa T., Takeuchi K., and Igarashi M.	論文	Abnormalities in perineuronal nets and behavior in mice lacking CSGalNAcT1, a key enzyme in chondroitin sulfate synthesis. <i>Mol. Brain</i> , 10 47 doi:10.1186/s13041-017-0328-5 (2017) 査読有
Yang S., Hilton S., Alves J. N., Saksida L. M., Bussey T. M., Matthews R. T., Kitagawa H., Spillantini M. G., Kwok J. C. F., and Fawcett J. W.	論文	Antibody recognising 4-sulphated chondroitin sulphate proteoglycans restores memory in tauopathy-induced neurodegeneration. <i>Neurobiol. Aging</i> , 1900/02/27 197-209 doi: 10.1016/j.neurobiolaging.2017.08.002 (2017) 査読有り
Hou X., Yoshioka N., Tsukano, H., Sakai A., Miyata S., Watanabe Y., Yanagawa Y., Sakimura, K., Takeuchi K., Kitagawa H., Hensch T., Shibuki K., Igarashi, M., and	論文	Chondroitin Sulfate Is Required for Onset and Offset of Critical Period Plasticity in Visual Cortex. <i>Sci. Rep.</i> 1900/01/06 1934/08/15 doi:10.1038/s41598-017-04007-x (2017) 査読有り
Takeda N., Ueda M., Mori N., Miyoshi T., Shimoda M., Uno Y., Kitagawa H., Emoto N., Mukai T., and Miyata O.	論文	FLUORESCENCE QUENCHING INDUCED BY SEQUENTIAL ADDITION-AROMATIZATION OF A BODIPY-CONTAINING DIENYLIMINE WITH THIOLS. <i>HETEROCYCLES</i> 94(4) 750-762 doi:
Shida M., Mikami T., Tamura J., and Kitagawa H.	論文	A characteristic chondroitin sulfate trisaccharide unit with a sulfated fucose branch exhibits neurite outgrowth-promoting activity: Novel biological roles of fucosylated chondroitin sulfates isolated from the sea cucumber <i>Apostichopus japonicus</i> . <i>Biochem. Biophys. Res. Commun.</i> 1901/05/01 678-683 doi:10.1016/j.bbrc.2017.04.114 (2017) 査読有り
富田 真理, 谷本 祐子, 上田 佳澄, 辻井 佳代, 土生 康司, 杉山 正敏, 大崎 往夫, 小林 政彦	学会報告	プレドニゾロン使用時のB型肝炎再活性化の対策と実施状況 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/25)
土生 康司, 水谷 暢明, 宮田 興子	学会報告	薬学統合学習の構築 第2報 — 臨床薬学-薬理学-有機化学の橋渡し教育を目指して — 第2回薬学教育学会 名古屋 (2017/9/3)
土生 康司	講演	医薬品情報 様々な情報源、その選択と活用 第17回薬剤師のためのイブニングセミナー 京都 (
土生 康司	講演	医薬品、サプリメントの 特徴にあった情報活用を考える サプリメントフォーラム2017 幕張 (2017/10/15)
土生 康司	著書	医薬品情報学(廣川書店) 第2章 19-36 (2017)
林 亜紀, 上田 春音, 松田 恵実, 中山 尋量	学会報告	層状複水酸化物とフィチン酸との複合体形成について 第26回無機リン化学討論会 習志野 (2017/8/25)
前田 秀子, 土田 早紀, 成相 裕之, 中山 尋量	学会報告	ヒドロキシプロリンの保湿性向上を目指したシクロ三リン酸塩によるリン酸修飾 第26回無機リン化学討論会 習志野 (2017/8/25)
先原 香織, 前田 秀子, 中山 尋量	学会報告	シクロデキストリンによるエドドラクの 包接能評価 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/27)
坂和 あゆみ, 前田 秀子, 中山 尋量	学会報告	シクロデキストリンを用いたアセメタシンの溶解性の改善 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/27)
前田 秀子	著書	リンの事典 24 (2017)

中山 尋量	著書	リンの事典 21 (2017)
Maeda H., Katsushiro M., Nariai H., Nakayama H.	論文	Introduction of phosphate group into beta-arbutin by cyclo-triphosphate <i>Phosphorus Res. Bull.</i> 32 21-25 (2017) 査読有り
北河 修治、上田 久美子、八巻 耕也、土生 康司、寺岡 麗子、宮田 興子	学会報告	チーム基盤型学習を用いた分野横断統合演習の構築の試み 第2回日本薬学教育学会大会 名古屋 (2017/9/2)
小山淳子、児玉典子、和田昭盛、北河修治	学会報告	神戸薬科大学におけるプレースメントテストの評価とその適用について 第2回日本薬学教育学会 名古屋 (2017/9/2)
児玉典子、小山淳子、和田昭盛、北河修治	学会報告	神戸薬科大学薬学基礎教育センターにおける適切な自律性支援の検討 一学習意欲研究における学習の動機づけと自己決定感との関連一 第2回日本薬学教育学会 名古屋 (2017/9/2)
廣野順介、佐名木遥佳、北田夏菜、佐田晴佳、鈴木篤史、瀬木一西田恵里、中川公恵、長谷川潤	学会報告	光血栓性脳梗塞モデルにおけるTimp/MMPファミリーの発現解析 ConBio2017 神戸 (2017/12/6)
鎌尾まや、川本実穂、倉本舞、持田七瀬、中村友紀、岡野登志夫、長谷川潤	学会報告	ビタミンD受容体およびビタミンD活性化酵素遺伝子欠損マウスの生殖機能低下に及ぼすカルシウム補充の影響 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/26)
Laurensius Kevin Lie、中川公恵、須原義智、長谷川潤	学会報告	ビタミンKによる脂肪細胞分化の制御 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会 神戸 (2017/10/14)
藤原聖美、西村亮宏、中川公恵、須原義智、長谷川潤	学会報告	Tamoxifen誘導型全身性ビタミンK変換酵素(UBIAD1)遺伝子欠損マウスの表現型解析 第67回日本薬学会近畿支部総会・大会 神戸 (2017/10/14)
佐名木遥佳、Laurensius Kevin Lie、廣野順介、中川公恵、長谷川潤	学会報告	加齢に伴う胸腺の組織学的・分子生物学的変化 フォーラム2017衛生薬学・環境トキシコロジー 仙台 (2017/7/10)
立石奈恵美、鈴木篤史、廣野順介、正木美有、Laurensius Kevin Lie、中川公恵、長谷川潤	学会報告	フタル酸エステルを投与した妊娠マウスにおける骨形成因子の発現 第44回日本毒性学会学術年会 横浜 (2017/7/10)
中川公恵、泰井麻由奈、横田衣利、原 香織、三宅智子、澤田夏美、須原義智、岡野登志夫、長谷川 潤	学会報告	脳神経特異的ビタミンK2合成酵素UBIAD1欠損マウスの脳機能解析 日本ビタミン学会第69回大会 横浜 (2017/6/17)
安田佳織、西川美宇、高松将士、阿部圭祐、生城真一、中川公恵、津川尚子、岡野登志夫、榊 利之	学会報告	CYP27B1遺伝子欠損マウスおよびラットにおける25-ヒドロキシビタミンD3投与の影響 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/25)
鈴木篤史、正木美有、鎌尾まや、中川公恵、瀬木恵里、長谷川 潤	学会報告	「妊娠期におけるTissue inhibitor of metalloproteinase (TIMP)ファミリーの発現制御 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/26)
中川公恵、原 香織、三宅智子、泰井麻由奈、横田衣利、澤田夏美、須原義智、長谷川 潤、岡野登志夫	学会報告	脳神経特異的ビタミンK2合成酵素UBIAD1欠損マウスの表現型解析 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/27)
廣田佳久、中川公恵、須原義智、岡野登志夫	学会報告	水素添加したビタミンK1(2',3'-PKH2)の代謝機構 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/27)
鎌尾 まや、川本 実穂、倉本 舞、持田七瀬、中村 友紀、岡野 登志夫、長谷川 潤	学会報告	ビタミンD受容体およびビタミンD活性化酵素遺伝子欠損マウスの生殖機能低下に及ぼすカルシウム補充の影響 日本薬学会第137年会 仙台 (2017/3/27)
長谷川 潤	講演	組織の老化に伴う血管新生とその制御 ConBio2017 神戸市 (2017/12/8)
中川 公恵	講演	ビタミンKの生体内変換機構とその生理的意義 第357回脂溶性ビタミン総合研究委員会 伊豆 (2017/10/29)
中川 公恵	講演	ビタミンKの生体内変換機構とその意義 2017年度生命科学系学会合同年次大会(ConBio2017)ワークショップ:古くて新しい脂溶性ビタミンの科学 神戸 (2017/10/29)
中川 公恵	講演	健康寿命の鍵を握るビタミンDとビタミンK 神戸薬科大学第22回健康食品講座 神戸 (2017/10/29)
中川 公恵	講演	ビタミンKの新たな機能探索～ビタミンK2合成酵素UBIAD1欠損マウスの解析から～ 埼玉医科大学ゲノム医学研究センター運営委員会承認学術集会 埼玉 (2017/10/29)
増山律子、福田 亨、中川公恵	総説	骨代謝における脂溶性ビタミン(A, D, E, K)の関与 内分泌・糖尿病・代謝内科 45(1) 38-44 (2017) 査読有

高橋典子、山崎正博、坂 晋、谷 佳津治、長谷川 潤、岡本 正志、高橋 隆幸、里見 佳子、山崎 正博、鈴木 健二、今井 正彦、原田 均、坂崎 文俊、中川 公恵、高橋 勝彦、長谷川晋也、渡辺 聡、河野 貴子、山口 孝子	著書	My衛生薬学 1-439 (2017)
Miura Y, Ngo Thai Bich V, Furuya M, Hasegawa H, Takahashi S, Katagiri N, Hongu T, Funakoshi Y, Ohbayashi N, Kanaho Y.	論文	The small G protein Arf6 expressed in keratinocytes by HGF stimulation is a regulator for skin wound healing. <i>Scientific Reports</i> 7 46649 doi: 10.1038/srep46649. (2017) 査読有り
Kamao M, Hirota Y, Suhara Y, Tsugawa N, Nakagawa K, Okano T, Hasegawa H.	論文	Determination of Menadione by Liquid Chromatography-Tandem Mass Spectrometry Using Pseudo Multiple Reaction Monitoring. <i>Analytical Sciences</i> 33 863-867 (2017) 査読有り
Hirota Y, Nakagawa K, Mimatsu S, Sawada N, Sakaki T, Kubodera N, Kamao M, Tsugawa N, Suhara Y, Okano T.	論文	Nongenomic effects of 1 α ,25-dihydroxyvitamin D3 on cartilage formation deduced from comparisons between Cyp27b1 and Vdr knockout mice. <i>Biochem Biophys Res Comm</i> 483 359-365 (2017) 査読有り
Kamao M, Hirota Y., Suhara Y., Tsugawa N., Nakagawa K., Okano T., Hasegawa H.	論文	Determination of Menadione by Liquid Chromatography-Tandem Mass Spectrometry Using Pseudo Multiple Reaction Monitoring. <i>Anal. Sci.</i> 33(7) 863-867 10.2116/analsci.33.863. (2017) 査読有り
玉巻欣子, 田内義彦	学会報告	米国の薬局でのフィールドワーク実践報告—アクティブラーニングを 取り入れた海外薬学研修に向けた試み— 日本社会薬学会第36年会 大阪 (2017/9/23)
玉巻欣子	学会報告	ナラティブ・メディスンを意識した薬学部教養教育の試み—神戸薬科大 学2年次『総合文化演習』玉巻ゼミでの取り組み— 第2回日本薬学教育学会 名古屋 (2017/9/2)
黒住和彦、小島多香子、永山正雄、濱西和子、高田淳、玉巻欣子、五十嵐裕章、服部しのぶ、福沢嘉孝、森茂、入交重雄、川越栄子、相見良成、平野美津子、守屋利佳、大下晴美、亀岡淳一、鈴木光代、青木洋介、芦田ルリ、塩田充、松本珠希、一杉正仁、安藤千春、(掲載順) Clive Langham, Timothy Minton, 日本医学英語	著書	医学・医療系学生のための総合医学英語テキストStep 2 31-44 (2017)
平井清子、金子利雄、堀内正子(責任者)、齋藤弘明、板垣正、河野享子、金澤洋子、玉巻欣子(編著者)、田沢恭子、山田恵、井原久美子、和治元義博. 日本薬	著書	薬学生のための英語1 55-62, 102-109 (2017)
赤井 朋子	学会報告	坪内士行の英国体験と宝塚少女歌劇 英米文化学会分科会 横浜 (2017/3/25)
Akai T.	学会報告	Cultural Transfer between London and Takarazuka: the Imitation and Adaptation of Musical Revue in 1920s Japan <i>Association for Asian Performance 17th Annual Conference Las Vegas</i> (2017/8/2)
岡奈津美, 河内正二, 垣内貴瑛, 小巻美菜子, 堀田優衣, 堀部紗世, 佐々木直人, 平田健一, 力武良行	学会報告	マウス脳血管とアストロサイトの相互作用モデルの構築 日本薬学会第137年会 仙台市 (2017/3/25)
宇野慎優, 堀部紗世, 井上咲那, 後藤麻友, 西岡詩織, 河内正二, 佐々木直人, 平田健一, 力武良行	学会報告	ラミニンによるアストロサイトの突起伸長の促進 日本薬学会第137年会 仙台市 (2017/3/25)
本木千恵, 堀部紗世, 高木妙子, 坂野友莉恵, 渡辺優希, 河内正二, 力武良行	学会報告	シスプラチン耐性獲得におけるCD44v9の役割 日本薬学会第137年会 仙台市 (2017/3/25)
Horibe S, Kawauchi S, Yasuike S, Mizuno S, Kato I, Rikitake Y.	論文	Anti-inflammatory effect of JBP485 on dextran sulfate sodium-induced colitis in mice. <i>J Biomed.</i> 2(2) 101-108 (2017) 査読有り
Naoto Sasaki	学会報告	Ultraviolet B exposure prevents atherosclerotic cardiovascular disease by regulating immunoinflammatory responses. 第46回日本免疫学会学術集会 仙台 (2017/12/14)
中江友軌、堀部紗世、井上咲那、宇野慎優、後藤麻友、西岡詩織、佐藤淳哉、河内正二、佐々木直人、小林成美、平田健一、	学会報告	ラミニンによるアストロサイトの突起形成促進にはジストログリカンと α -シトロフィンを介したAQP4の発現が関与する 2017年度生命科学系学会合同年次大会 神戸

岸 綾香、堀部紗世、坂野友里恵、高木妙子、本木千恵、渡辺優希、河内正二、佐々木直人、力武良行	学会報告	シスプラチン耐性獲得にはCD44vを介したxCTの細胞膜上での発現増加が関与する 2017年度生命科学系学会合同年次大会 神戸 (2017/12/6)
佐々木直人、溝口泰司、Hilman Zulkifli Amin、力武良行、山下智也、平田健一	学会報告	紫外線照射による心筋梗塞後の心不全抑制効果の検討 第45回日本臨床免疫学会総会 東京 (2017/7/21)
佐々木直人、溝口泰司、福永淳、錦織千佳子、山下智也、平田健一、力武良行	学会報告	紫外線照射は制御性T細胞の誘導を介して心筋梗塞の予後を改善させる 第39回日本光医学・光生物学会名古屋 (2017/7/21)
佐々木直人、林友鴻、福永淳、錦織千佳子、山下智也、平田健一、力武良行	学会報告	紫外線照射による動脈硬化抑制効果の検討 第39回日本光医学・光生物学会 名古屋 (2017/7/21)
Muneaki Miyata, Kenji Mandai, Tomohiko Maruo, Junya Sato, Hajime Shiotani, Aika Kaito, Yu Itoh, Shujie Wang, Takeshi Fujiwara, Akira Mizoguchi, Yoshimi Takai, 林友鴻、佐々木直人、江本拓央、溝口泰司、吉田尚史、田畑論子、Hilman Zulkifli Amin、山下智也、平田健一	学会報告	Localization and functions of nectin-2 in the brain 第40年日本神経科学会 千葉 (2017.7.20-23)
Hilman Zulkifli Amin, Naoto Sasaki, Kazuyuki Kasahara, Takuo Emoto, Tomohiro Hayashi, Taiji Mizoguchi, Yoshiyuki Rikitake, Tomoya Yamashita, Taiji Mizoguchi, Naoto Sasaki, Tomohiro Hayashi, Takuo Emoto, Nafumi Yoshida, Tomoya Yamashita, Ken-ichi Hirata	学会報告	アンジオテンシンII誘導性マウス大動脈瘤モデルを用いた、紫外線照射による大動脈瘤抑制効果の検討 第49回日本動脈硬化学会総会、広島 (2017/7/6)
Hilman Zulkifli Amin, Naoto Sasaki, Kazuyuki Kasahara, Takuo Emoto, Tomohiro Hayashi, Taiji Mizoguchi, Yoshiyuki Rikitake, Tomoya Yamashita, Taiji Mizoguchi, Naoto Sasaki, Tomohiro Hayashi, Takuo Emoto, Nafumi Yoshida, Tomoya Yamashita, Ken-ichi Hirata	学会報告	Foxp3+ regulatory T cells inhibit the development of atherosclerosis by regulating immunoinflammatory responses. 第49回日本動脈硬化学会総会 広島 (2017/7/6)
Amin HZ, Sasaki N, Hirata KI.	総説	Ultraviolet B exposure improves survival after myocardial infarction in mice. 第81回日本循環器学会学術集会 金沢 (2017/3/18)
Amin HZ, Sasaki N, Hirata KI.	総説	Regulatory T Cell Immunity in Atherosclerosis. <i>Acta Med Indones.</i> 49(1) 63-68 (2017) 査読有り
Sasaki N, Yamashita T, Kasahara K, Fukunaga A, Yamaguchi T, Emoto T, Yodoi K, Matsumoto T, Nakajima K, Kita T, Takeda M, Mizoguchi T, Hayashi T, Sasaki Y, Hatakeyama M, Taguchi K, Washio K, Sakaguchi S, Malissen B, Hayashi T, Sasaki N, Yamashita T, Mizoguchi T, Emoto T, Amin HZ, Yodoi K, Matsumoto T, Kasahara K, Yoshida N, Tabata T, Kitano N, Fukunaga A, Nishigori	論文	UVB exposure prevents atherosclerosis by regulating immunoinflammatory responses. <i>Arterioscler Thromb Vasc Biol.</i> 37 66-74 (2017) 査読有り
Kawashima T, Takito J, Shimada Y, Sato M, Inoue M, Miyazaki T, Miyata M, Rikitake Y, Takai Y, Nakamura M.	論文	Ultraviolet B Exposure Inhibits Angiotensin II-Induced Abdominal Aortic Aneurysm Formation in Mice by Expanding CD4+Foxp3+ Regulatory T Cells. <i>J Am Heart Assoc.</i> 6(9) e007024 (2017) 査読有り
Yamana S, Tokiyama A, Fujita H, Terao Y, Horibe S, Sasaki N, Satomi-Kobayashi S, Hirata K, Rikitake Y.	論文	Dynamic expression of nectins in enamel organs of mouse incisors. <i>J Oral Biosci.</i> 59 172-178 (2017) 査読有り
Terao Y, Fujita H, Horibe S, Sato J, Minami S, Kobayashi M, Matsuoka I, Sasaki N, Satomi-Kobayashi S, Hirata K, Rikitake Y.	論文	Necl-4 enhances the PLC γ -c-Raf-MEK-ERK pathway without affecting internalization of VEGFR2. <i>Biochem Biophys Res Commun.</i> 490 169-175 (2017) 査読有り
Suzuki A, Fukuzawa K, Yamashita T, Yoshida A, Sasaki N, Emoto T, Takei A, Fujiwara R, Nakanishi T, Yamashita S, Matsumoto A, Konishi H, Ichibori H, Hirata	論文	Interaction of FAM5C with UDP-glucose:glycoprotein glucosyltransferase 1 (UGGT1): Implication of N-glycosylation in FAM5C secretion. <i>Biochem Biophys Res Commun.</i> 486 811-816 (2017) 査読有り
森脇 健介.	解説	Circulating intermediate CD14++CD16+monocytes are increased in patients with atrial fibrillation and reflect the functional remodelling of the left atrium. <i>Europace</i> 19(1) 40-47 (2017) 査読有り
森脇 健介.	解説	免疫チェックポイント阻害薬の医療経済. <i>ファルマシア.</i> 53 976-978. (2017) 査読無し
森脇 健介.	解説	骨粗鬆症リエゾンサービスの費用対効果. <i>CLINICAL CALCIUM.</i> 27(9) 79-85. (2017) 査読無し
森脇 健介.	解説	骨折リエゾンサービスの医療費節減効果. <i>Osteoporosis Japan PLUS.</i> 2(1) 34-37. (2017) 査読無し
森脇 健介.	解説	骨粗鬆症のQOL・ADL評価. <i>THE BONE.</i> 31(1) 97-100. (2017) 査読無し
森脇 健介.	解説	骨折リエゾンサービスの医療費節減効果 <i>Osteoporosis Japan PLUS</i> 2(1) 34-37 (2017) 査読無し

Moriwaki K, Fukuda H.	学会報告	Cost-Effectiveness of Implementing Guidelines for the Treatment of Glucocorticoid-Induced Osteoporosis in Japan. <i>Society for Medical Decision Making 39th Annual North American Meeting.</i>
吉村 美寿樹, 森脇 健介, 能登 真一, 瀧口 徹.	学会報告	日本人女性に対する骨粗鬆症検診と骨折予防治療の医療経済評価-状態遷移モデルに基づく費用効果分析-. 国際医薬経済・アウトカム研究学会(ISPOR) 日本部会 第13回学術集会. 東京 (2017/8/31)
森脇 健介.	講演	エクセルを用いた確率的感度分析の実践. 国際薬剤経済アウトカム研究学会(ISPOR)日本部会 賛助会員向け企画ワークショップ. 東京 (2017/12/15)
森脇 健介.	講演	骨粗鬆症治療におけるTreat to Targetと費用対効果. シンポジウム:骨粗鬆症におけるtreat to target. 日本整形外科学会学術総会. 宮城 (2017/5/19)
Moriwaki K.	講演	Cost-effective thresholds of Δ NTCP for the use of proton beam therapy. 4th GI-CoRE Medical Science and Engineering Symposium Model-based Approach : NTCP & TCP . Hokkaido (2017/3/15)
森脇 健介.	講演	悪性腫瘍に対する医療技術の費用対効果評価の手法と課題. JMIRI シンポジウム「Medical data science day」. 東京 (2017/3/17)
森脇 健介.	講演	費用対効果評価の手法と諸外国の状況:ICERとQALY. 医療経済・QOL研究センター 第4回セミナー. 新潟 (2017/3/4)
森脇 健介	講演	悪性腫瘍に対する医療技術の費用対効果評価の手法と課題 JMIRI シンポジウム「Medical data science day」 東京 (2017/3/22)
Moriwaki K	講演	Cost-effective thresholds of Δ NTCP for the use of proton beam therapy 4th GI-CoRE Medical Science and Engineering Symposium Model-based Approach : NTCP & TCP Hokkaido (2017/3/14-15)
森脇 健介	講演	費用対効果評価の手法と諸外国の状況:ICERとQALY 医療経済・QOL研究センター 第4回セミナー 新潟 (2017/3/4)
Moriwaki K, Mouri M, Hagino H.	論文	Cost-effectiveness analysis of once-yearly injection of zoledronic acid for the treatment of osteoporosis in Japan. <i>Osteoporosis International</i> . 28(6) 1939-1950. (2017) 査読有り
Nagayama H, Tomori K, Ohno K, Takahashi K, Nagatani R, Izumi R, Moriwaki K, Yamauchi K.	論文	Cost effectiveness of the occupation-based approach for subacute stroke patients: result of a randomized controlled trial. <i>Top Stroke Rehabil</i> . 15 2018/01/08 (2017) 査読有り
Shiroiwa T, Fukuda T, Ikeda S, Takura T, Moriwaki K.	論文	Development of an Official Guideline for the Economic Evaluation of Drugs/Medical Devices in Japan. <i>Value in Health</i> 20(3) 372-378 (2017) 査読有り
Nagayama H, Tomori K, Ohno K, Takahashi K, Nagatani R, Izumi R, Moriwaki K, Yamauchi K.	論文	Cost effectiveness of the occupation-based approach for subacute stroke patients: result of a randomized controlled trial. <i>Top Stroke Rehabil</i>
Moriwaki K, Mouri M, Hagino H.	論文	Cost-effectiveness analysis of once-yearly injection of zoledronic acid for the treatment of osteoporosis in Japan. <i>Osteoporosis International</i> in press 10.1007/s00198-017-3973-8. (2017) 査読有り
Yoshimura M, Moriwaki K, Noto S, Takiguchi T.	論文	A model-based cost-effectiveness analysis of osteoporosis screening and treatment strategy for postmenopausal Japanese women. <i>Osteoporosis International</i> 28(2) 643-652 (2017) 査読有り
Moriwaki K, Noto S	論文	Economic evaluation of osteoporosis liaison service for secondary fracture prevention in postmenopausal osteoporosis patients with previous hip fracture in Japan. <i>Osteoporosis International</i> 28(2) 621-632. (2017) 査読有り
天野 郁子, 北島 佐紀人, 鈴木 秀幸, 肥塚 崇男, 土反 伸和	学会報告	植物の花弁細胞における代謝輸送動態の解析~ペチュニア芳香族化合物をモデルに~ 第12回トランスポーター研究会 仙台市 (2017/7/8)
大木 秀浩, 炭田 奈々, 南 博道, 佐藤 文彦, 土反 伸和	学会報告	輸送工学を用いた効率的なアルカロイド生産系の開発 第12回トランスポーター研究会 仙台市 (2017/7/8)

掛川 博文、土反 伸和、永山 秀佳、荻田 信二郎、矢崎 一史、杉山 暁史	学会報告	コーヒーノキにおけるPurine permease familyの遺伝子発現解析 第35回日本植物細胞分子生物学会 大宮市 (2017/8/29)
天野 郁子、北島 佐紀人、鈴木 秀幸、肥塚 崇男、土反 伸和	学会報告	芳香族化合物の生産細胞における輸送体発現解析—代謝と輸送を繋ぐ— 第67回 日本薬学会近畿支部総会・大会 神戸市 (2017/10/14)
土反 伸和、津山 濯、林田 南帆、高部 圭司、矢崎 一史	学会報告	タバコ根におけるニコチントランスポーターJAT1 の細胞内局在の解析 第12回トランスポーター研究会 仙台市 (2017/7/8)
土反 伸和、天野 郁子、北島 佐紀人、鈴木 秀幸、肥塚 崇男	学会報告	ペチュニア花卉で発現する遺伝子の網羅的解析と輸送体遺伝子の発現解析 第35回日本植物細胞分子生物学会 大宮市 (2017/8/29)
土反 伸和	講演	薬用植物における特化代謝(二次代謝)産物の輸送機構 名古屋市立大学 創薬生命科学特別講義II 愛知県名古屋市 (2017/4/12)
土反 伸和	講演	植物二次代謝生産における耐性・輸送機構の解明 山口大学 生態機能科学セミナー 山口 (2017/12/21)
津川 尚子、小笠原 帆南、植嶋 笑子、豊村 紗世、檜谷 里菜、栗原 晶子、鎌尾 まや、小林 俊二郎、中埜 拓	学会報告	母乳中ビタミンDおよび代謝物濃度の地域・季節感比較ならびに経年的変化の検討 日本ビタミン学会第69回大会 横浜 (2017/6/9)